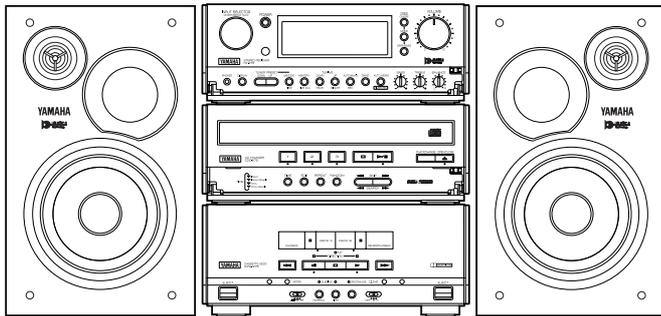


YAMAHA

ニューコンパクトステレオ

CC-75

取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Active Servo
Technology

このたびは、YAMAHAニューコンパクトステレオCC-75をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

CC-75の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	2~3
おもな特長	4
お使いになる前の準備(設置と接続)	5~9
各部のなまえ	10~14
リモコンについて	15
時刻の合わせかた	16~17

基本操作(電源・音量・音質)	18~19
CDを聴くには	20~27
テープを聴くには	28~31
ラジオ放送を聴くには	32~35
DSS(音場効果)について	36~37

CDを録音するには	38~43
テープダビングするには	44~45
ラジオ放送を録音するには	46~47
タイマーを使うには	48~51
他の機器を楽しむには	52

CDについて	53
テープについて	54
お手入れするには	55
故障かな?と思ったら	56~57
参考資料	58
仕様について	59
ヤマハホットラインサービスネットワーク	60

はじめに

演奏(再生)

録音・その他

ご参考

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置されるとき		使用中に異常が発生したとき		
	<p>本機に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>表示された電源電圧交流100V以外の電圧で 사용하지 ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>		<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>水場での使用禁止</p> <p>風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>		<p>万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
ご使用になるとき			<p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。</p> <p>本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>			<p>絵表示の例</p> <p> 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p> <p> 記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p> <p> 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>
	<p>分解禁止</p> <p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>			
<p>接触禁止</p> <p>雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。(外部アンテナ使用時)</p>				



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置されるとき		ご使用になるとき							
<p>アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	<p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>	<p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。</p>						
				<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	<p>お子様がカセットテープ挿入口やディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。</p>	<p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>		
								<p>お手入れについて</p>	
								<p>本機を設置する場合は、間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>	<p>1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>
				<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、カセットテープやCDディスクは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。</p>	<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>				

安全上のご注意

おもな特長

ライフスタイルに合わせて、レイアウトが楽しめる本体3ピースのニューデザインコンポ

小型スピーカーでも、豊かな重低音を再生する

ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー搭載

実用最大出力75W + 75Wで迫力ある音が楽しめます

CD3枚連続演奏が楽しめます

CDからの編集が簡単にできる多機能・高音質CDプレーヤー

デッキ部は、フェザータッチ方式採用のWリバーズメカニズム

FM/AM合計40局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー(AMステレオ対応)

電源を切っていても、ワンタッチで演奏を始めるダイレクトプレイ機能

デジタルスーパーサラウンド (DSS) 搭載

43キー多機能ワイヤレスリモコン

はじめに、次のことをお確かめください。

1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか？

2 付属品はきちんとそろっていますか？

付属品



音楽のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

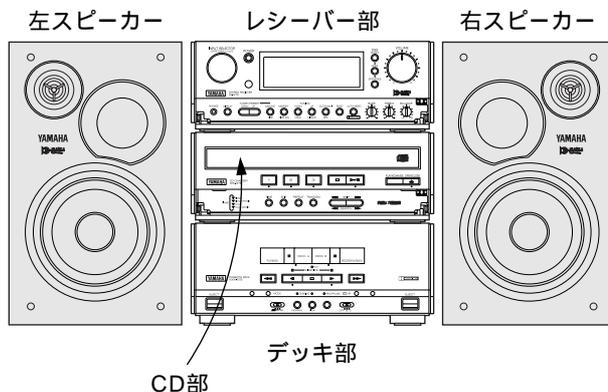
ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

お使いになる前の準備

置きかた

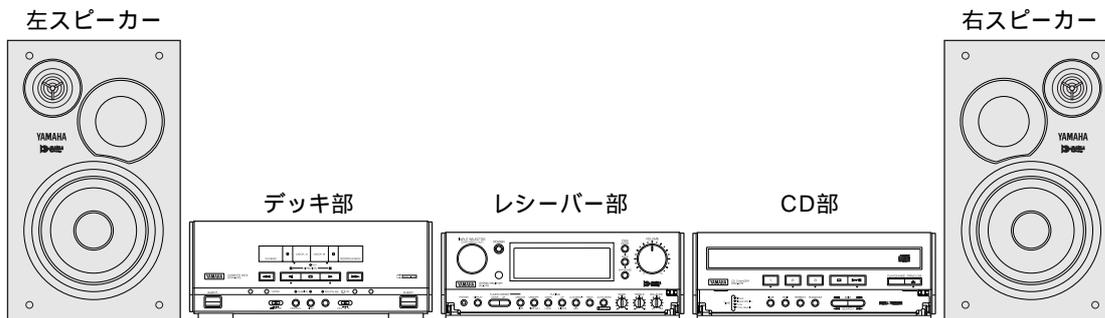
縦に積み重ねる場合

・・・放熱性を良くするため、レシーバー部を必ず最上部に置いてください。
CD部・デッキ部は、中央・下部のいずれに置いてかまいません。



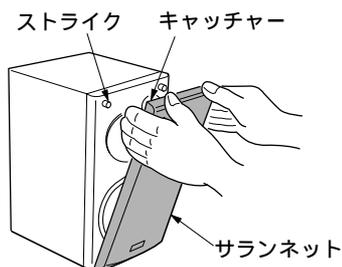
横に並べる場合

・・・レシーバー部を中央に置いてください。
デッキ部・CD部は、左右どちらに置いてかまいません。



サラネットの取り外し

スピーカーのサラネットは、はめ込み式で取り付けられています。
取り外す場合は、サラネットの上部両側を持って手前に引くと取りはずすことができます。
取り付けは、本体側に付いているストライク(金属の突起)とサラネット裏側キャッチャー(ストライク受け部)を合わせて軽く押し込んでください。(サラネットの布部分は押さえないでください。)
注) サラネットを取り付ける際、上下に注意してください。



設置上のご注意

ラックなどに入れるときは、放熱を良くするため本機の天面10cm、背面10cm以上のすきまをあけてください。
本機のスピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビにあまり近づけないでください。
テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。

システム機器間および スピーカーの接続

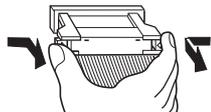
接続は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

差し込むには



中央を押して差し込んでください。

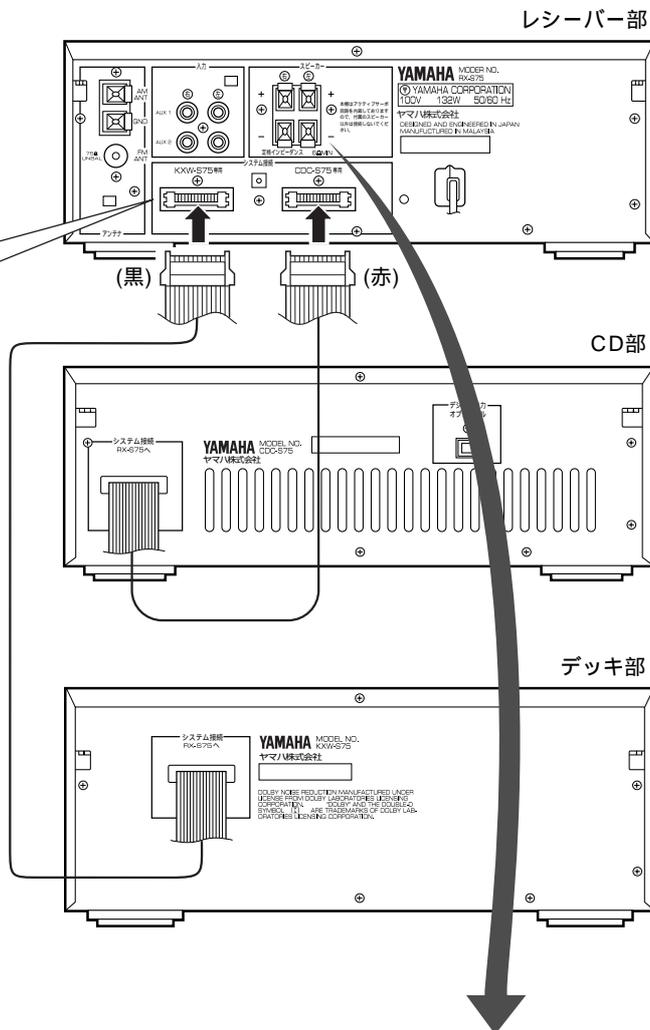
抜くには



コネクタ両端のフックを内側へ押し込んでから手前に抜きます。

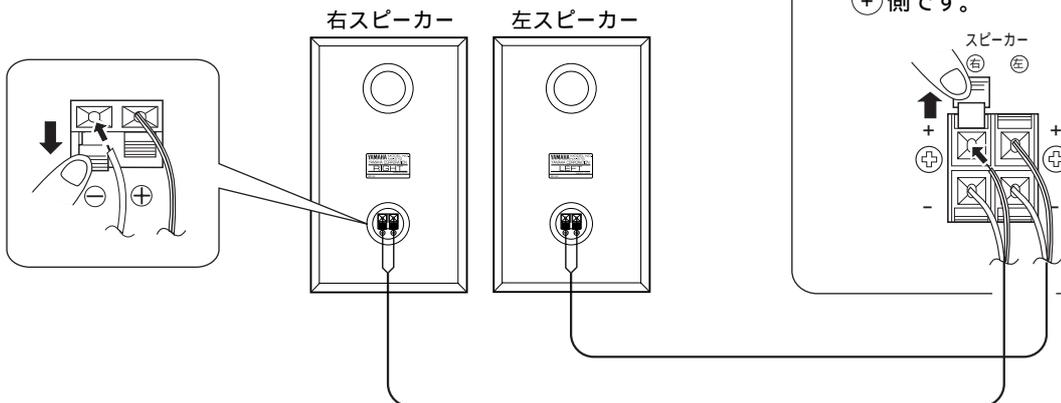
接続上のご注意

コードは本書の説明どおりに接続してください。各接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出たり、スピーカーをいためる原因になります。スピーカーコードのプラス(+)、マイナス(-)を間違えないように接続してください。この製品はアクティブ・サーボ・テクノロジーシステムを搭載していますので付属のスピーカー(NX-S75)以外は使用しないでください。(他のスピーカーを使用した場合、故障の原因となります)



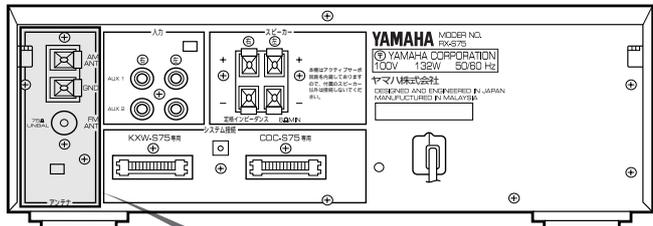
レバーを開いたあと、コードを奥まで差し込みます。差し込んだあとは、レバーをもとにもどします。

ライン入りのコードがプラス(+)側です。

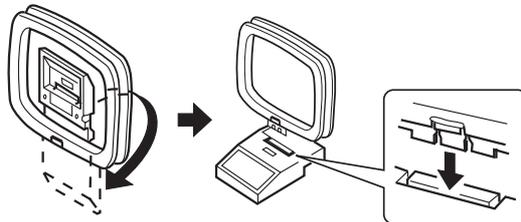


付属アンテナの接続

レシーバー部

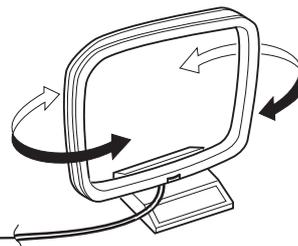


AM用ループアンテナの組み立て



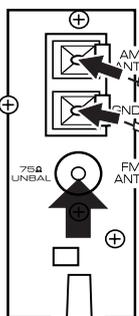
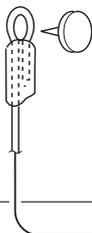
AM用ループアンテナ

放送が最もきれいに聞こえる方向にします。アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。



FM用アンテナ

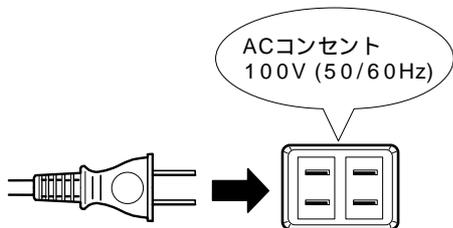
音を聴きながら歪や雑音の最も少ない位置に、押しピンなどで固定します。



お使いになる前の準備

電源コードの接続

接続が完了してから、電源コードを接続します。



- 電源コードを接続すると、レシーバー部のディスプレイ(表示)が点滅します。まず最初に時刻合わせ(16ページ)を行ってください。

発熱について

本機は、リモコンやタイマー機能を働かせるために、電源を切っても(POWER OFF状態)表示窓の時計表示やマイコンのメモリー用に電気を消費しています。そのため、若干発熱しますが異常ではありません。

お使いになる前の準備

他の機器との接続

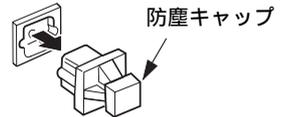
接続は、本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

注)レコードプレーヤーをお使いになるときは、市販のフォノイコライザー内蔵プレーヤーを補助入力端子(AUX1またはAUX2)に接続してください。

ビデオデッキ
LDプレーヤー
DATデッキなど

音声出力端子へ

接続するときは、防塵キャップをはずしてください。



使用しないときは、ほこりなどを防ぐため、必ずキャップをしてください。

ビデオなどの音声を本機へ入力するときに接続します。(右) (左)

接続コード
(市販)

AUX 1

レーザー部

CD部

光ファイバケーブル
(市販)

デッキ部

DATデッキ

MD

DCCなど

(デジタル録音機器)

OPTICAL
IN端子へ

AUX 2

ビデオなどの音声を本機へ入力するときに接続します。(右) (左)

接続コード
(市販)

ビデオデッキ
LDプレーヤー
DATデッキなど

音声出力端子へ

お使いになる前の準備

—CDデジタル出力端子について—

この端子は、本機CDのデジタル信号(光)を出力します。OPTICAL INPUT端子を持つデジタル録音機器(DAT, MD, DCCなど)と接続して、本機CDを録音することができます。

注)CDデジタル出力端子は、他のインプット(TAPE・TUNER・AUX1・AUX2)の信号を出力しません。また、音質/音場効果のデジタル信号は出力しません。

接続上のご注意

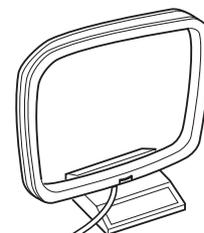
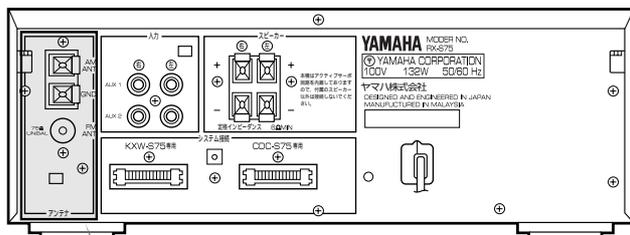
コードは本書の説明どおりに接続してください。接続コードは付属していませんので、お買い上げの販売店で求めください。各接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。

屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聴こえないときは、屋外アンテナをご使用ください。
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)

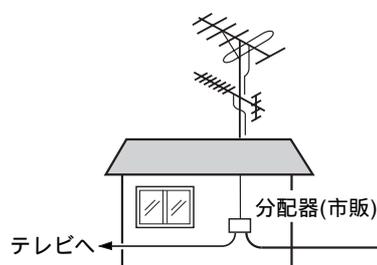
AMループアンテナ

レシーバー部



FM用アンテナ

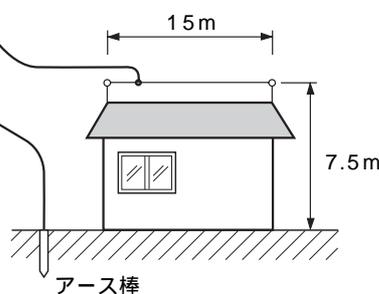
市販のFM屋外アンテナを接続します。また、分配器を使うと、FMアンテナと同等の性能は得られませんが、TV用アンテナをFMアンテナとして代用することができます。



75Ω 同軸ケーブル (市販)

AM用アンテナ

できるだけ、高さ7.5m、水平部15mに近い寸法のアンテナ線を屋根または地上に張ると効果的です。アースをつなぐとさらに感度がよくなります。



屋外アンテナを立てる場所について

放送局の送信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみてください。

送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。

自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。

落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

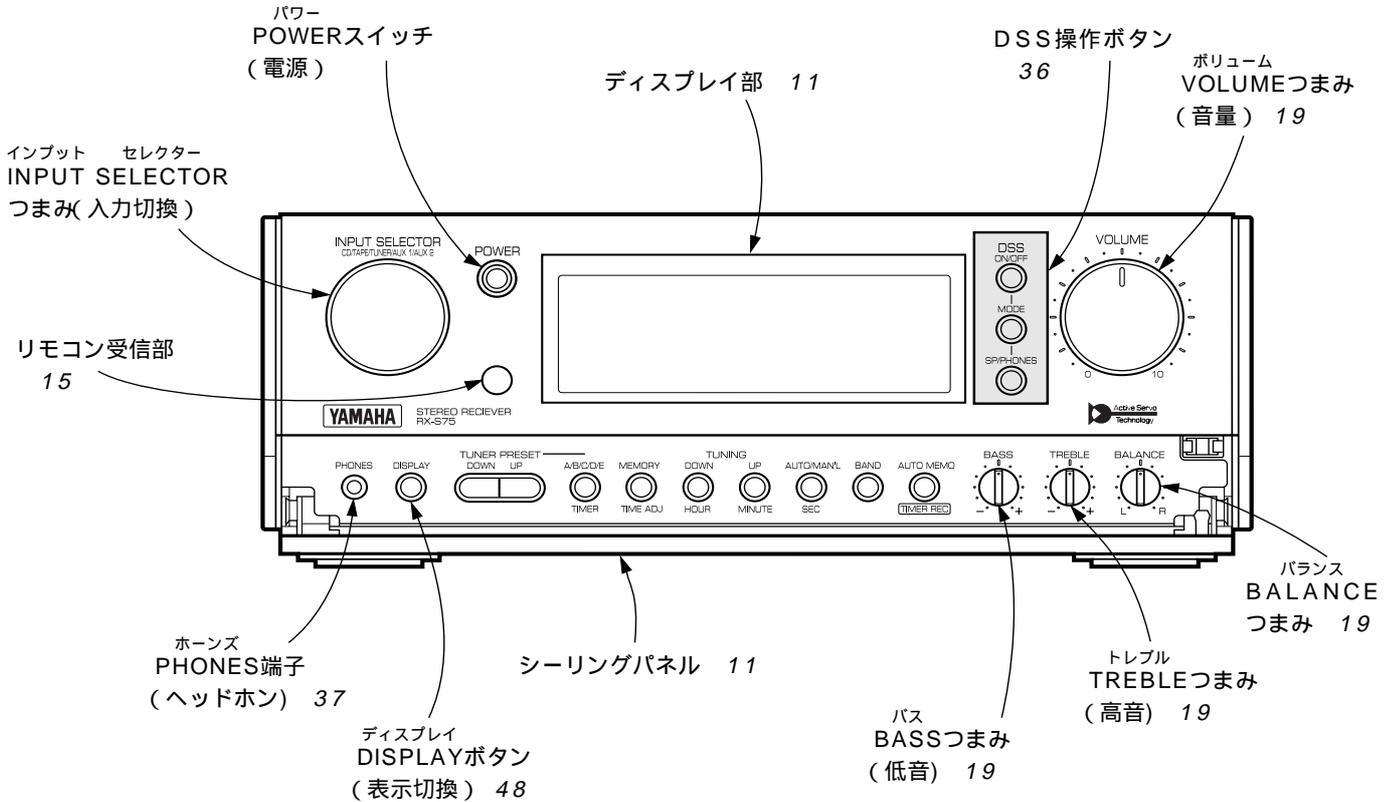
各部のなまえ

番号は、本文で説明しているおもなページです。

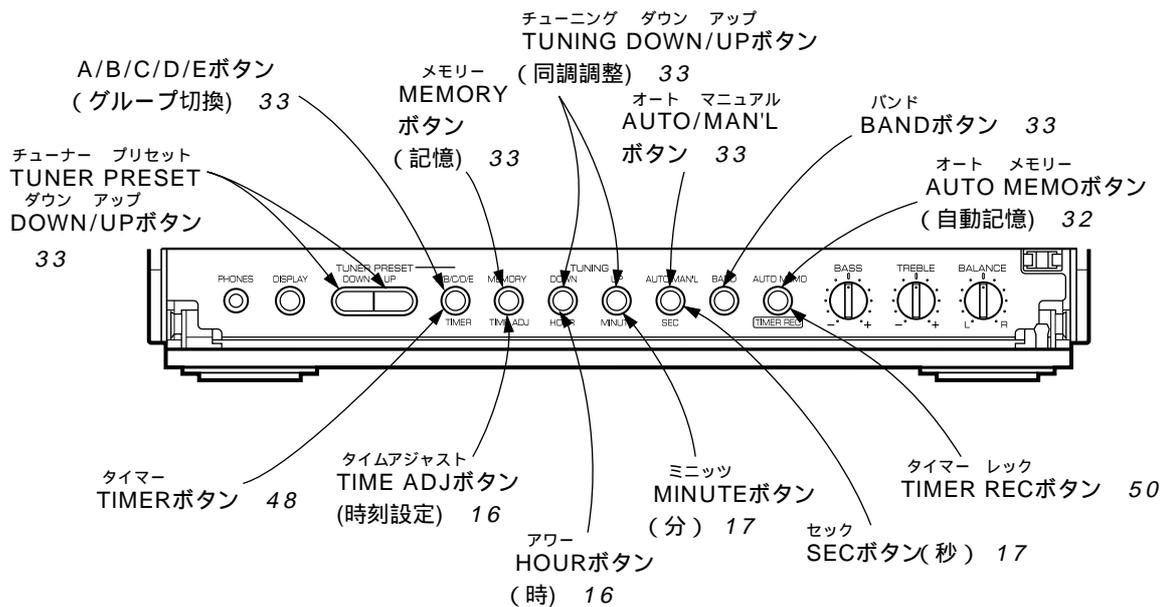
レシーバー部(RX-S75)

アンプ操作部

各部のなまえ



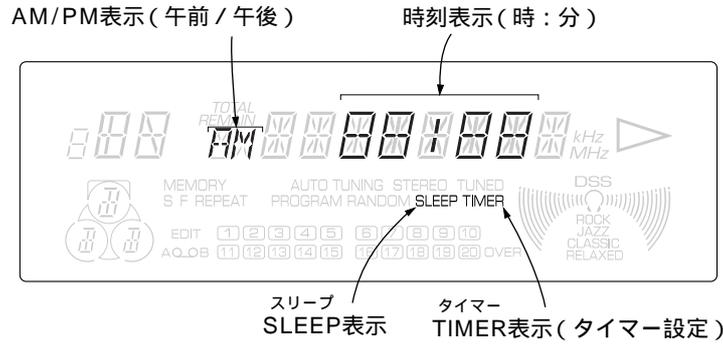
チューナー操作部



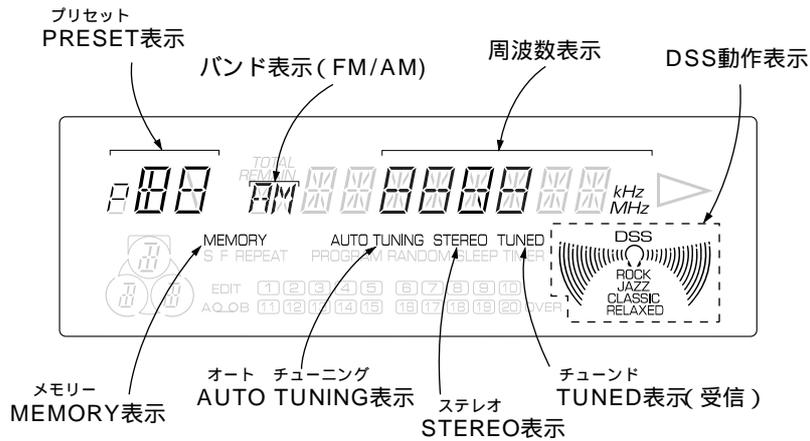
タイマー操作部

ディスプレイ部

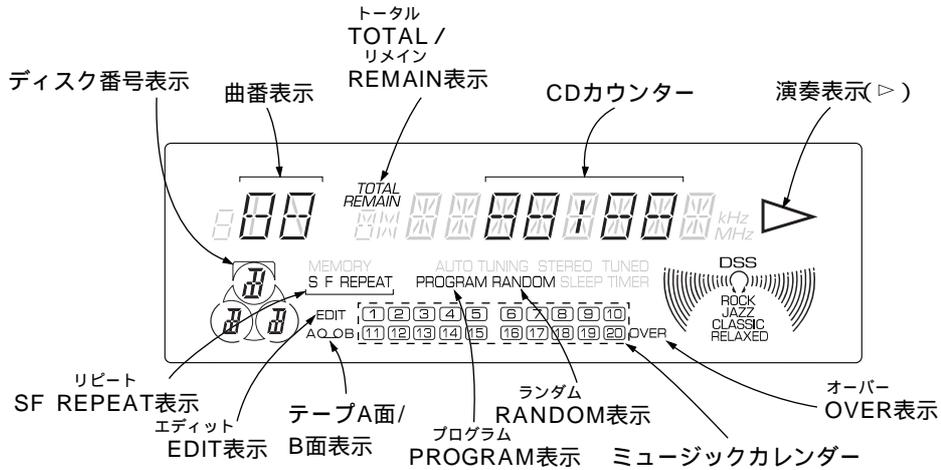
《タイマーモード》



《チューナーモード》

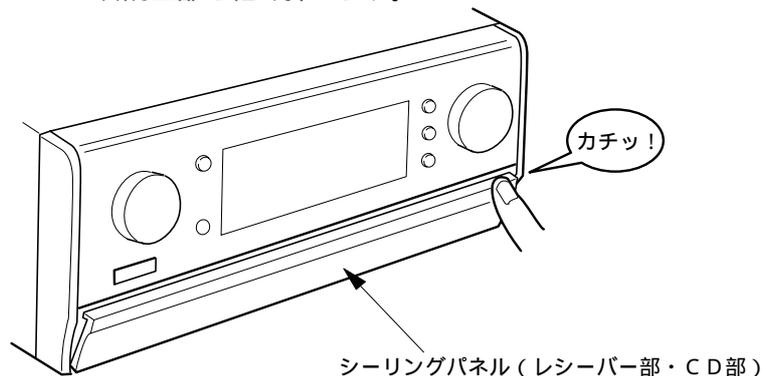


《CDモード》



シーリングパネルの開け方

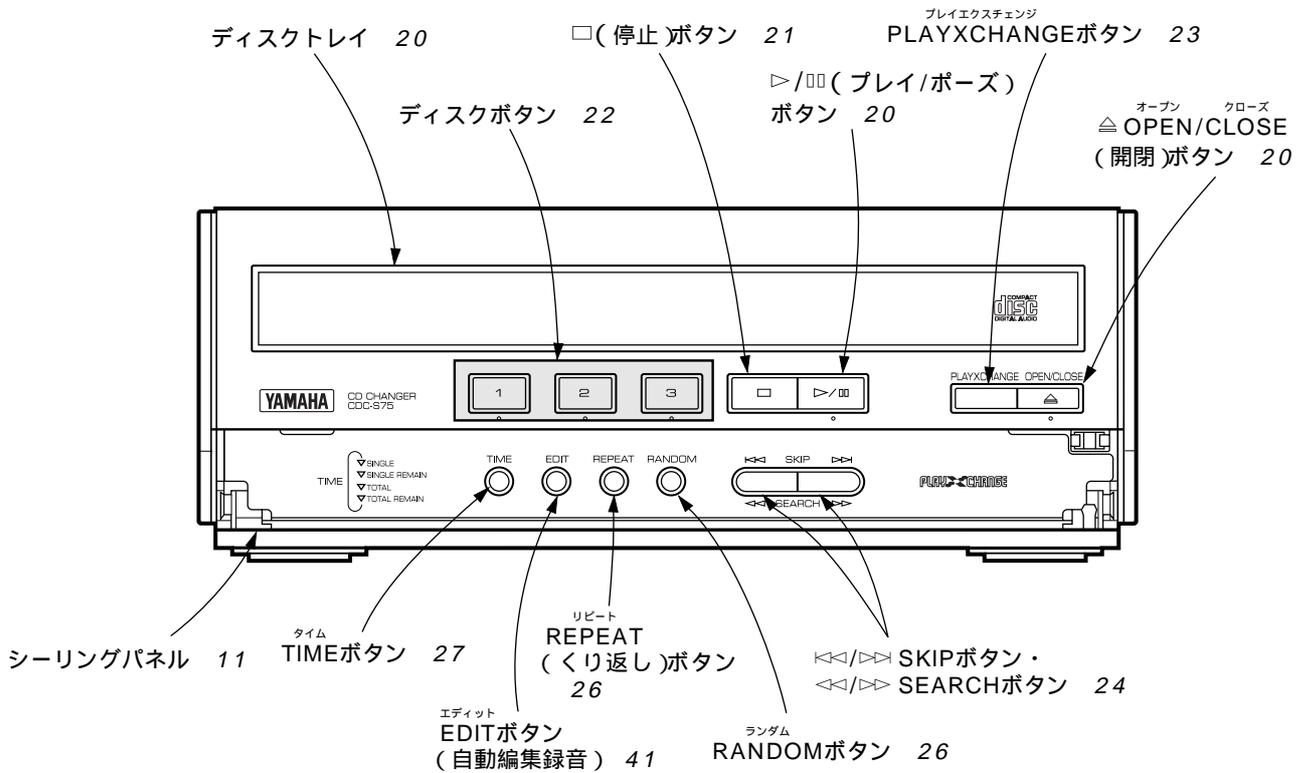
右隅上部を軽く押します。



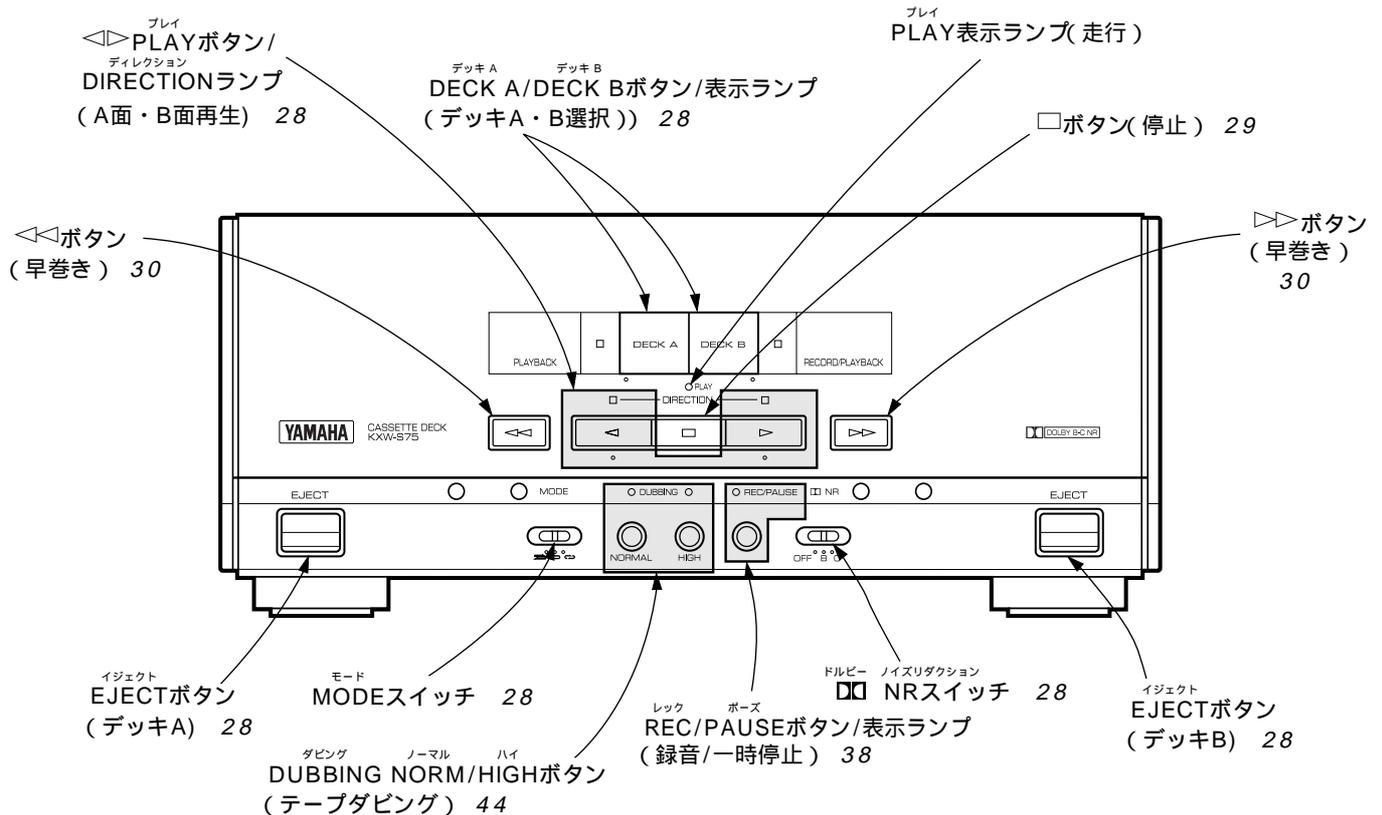
各部のなまえ

番号は、本文で説明しているおもなページです。

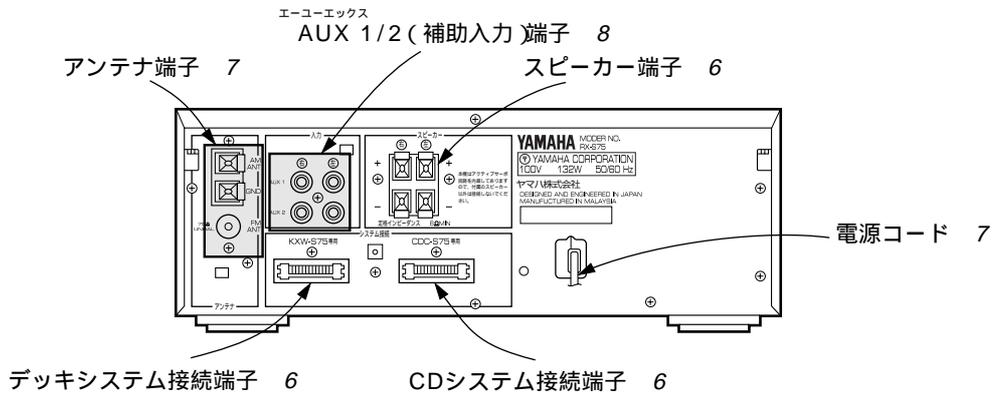
CD部(CDC-S75)



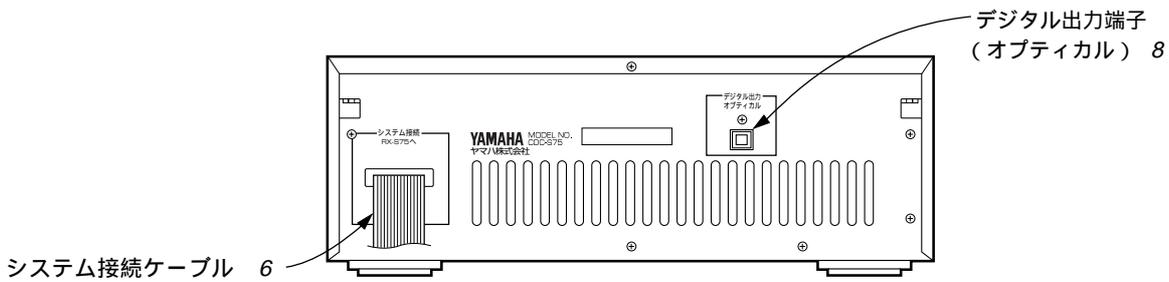
デッキ部(KXW-S75)



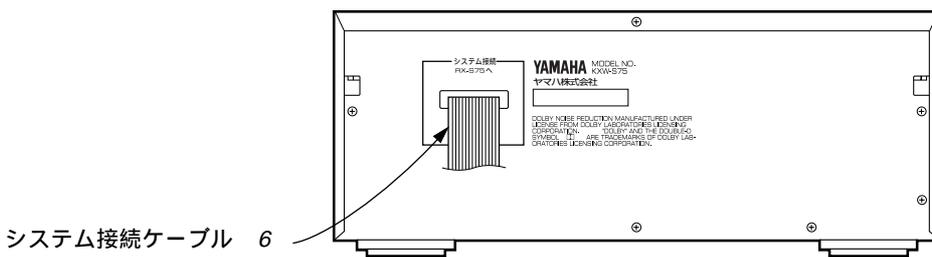
レシーバー部背面(RX-S75)



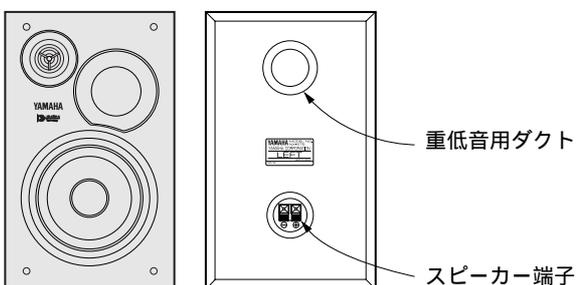
CD部背面(CDC-S75)



デッキ部背面(KXW-S75)



スピーカー部(NX-S75)



ご 注 意

重低音用ダクトのなかに異物を入れたり、細長い棒を差し込んだりしないでください。
万一、異物が入ったときは、スピーカーコードを抜いて販売店に連絡してください。

各部のなまえ

リモコン

各部のなまえ

CD操作部

CDダイレクト10-KEYボタン
(1~0、+10) 23

タイム
TIMEボタン

プログラム
PROGボタン 25

テープ
TAPEボタン 42

エディット
EDITボタン

リピート
REPEATボタン

ランダム
RANDOMボタン

ストップ
STOPボタン

プレイ ボース
PLAY/PAUSEボタン

オープン クローズ
OPEN/CLOSEボタン

モード
MODEボタン 22

ディスク スキップ
DISC SKIPボタン

検索ボタン /

スキップボタン

チューナーダイレクト操作部

チューナー
TUNERダイレクトボタン(1~8、A~E) 34

デッキ操作部

プレイ
PLAYボタン

ストップ
STOPボタン

デッキ
DECK A/Bボタン
(デッキA/B選択)

早巻きボタン

レック ボース
REC/PAUSEボタン

エフェクト レベル
EFFECT LEVELボタン 37

インプット
INPUTボタン(入力切換)

DSS操作部

スピーカー/ホーンズ
SP/PHONESボタン

モード
MODEボタン

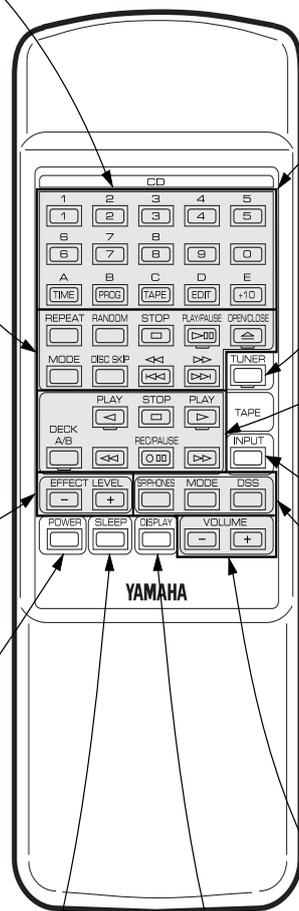
ディエスエス
DSSボタン

パワー
POWERボタン(電源)

ボリューム
VOLUMEボタン(音量調整)

スリープ
SLEEPボタン 51

ディスプレイ
DISPLAYボタン



のボタンは、リモコン側でのみ操作できます。

リモコンについて

乾電池の入れかた



乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れてください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

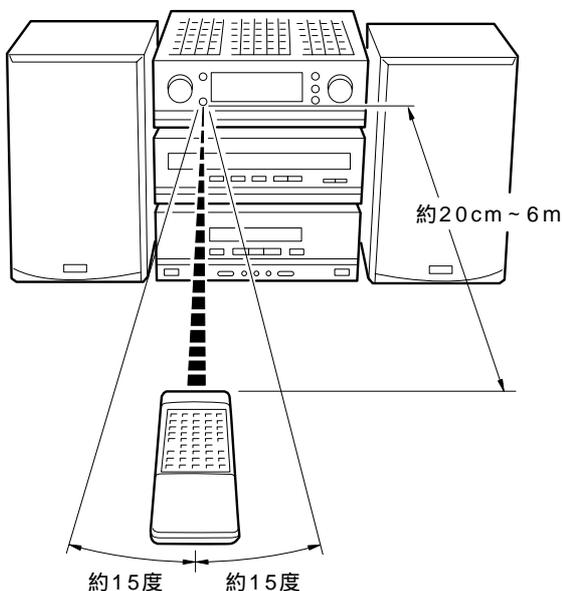
種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。

乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。

乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。

液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

リモコンの使用範囲



リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。

リモコン受信部に近寄らないと動作をしない場合は、乾電池を交換してください。

リモコン取扱上のご注意

受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。

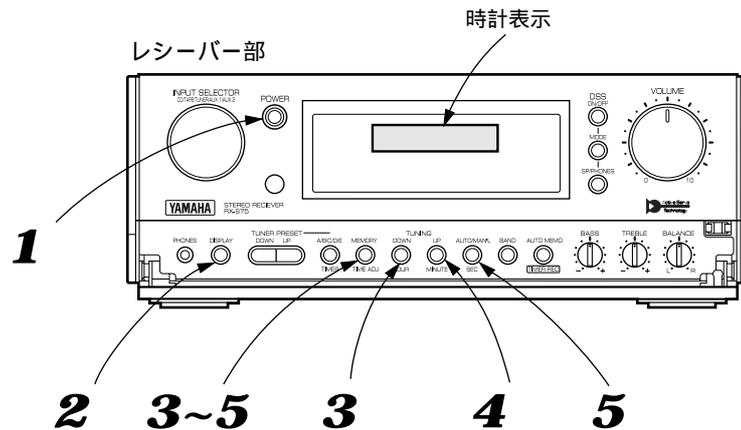
リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。

受信部に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっているとリモコンが働きにくくなります。照明または製品本体の向きを変えてください。

他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。

時刻の合わせかた

電源コードをつなぐと、ディスプレイ部が点滅します。下記の方法で時刻を合わせてください。



時刻の合わせかた

(例) 午前10時30分に合わせるとき

1

電源を入れる (POWER ON)

パワー
POWERボタンを押す



電源OFFの状態でも、時刻合わせができます。
その場合は、③ ~ ⑤ の操作をしてください。

2

時計表示にする

ディスプレイ
DISPLAYボタンを一度押す

約8秒間何も操作しないと、自動的に元の表示(インプット表示)に戻ります。そのときは、もう一度DISPLAYボタンを押してください。



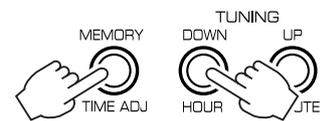
CLOCKの文字を表示して時計表示になります。

3

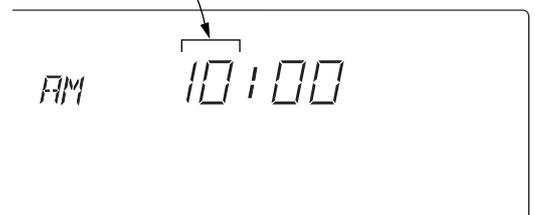
“時”合わせ

タイムアジャスト
TIME ADJボタンを押したまま、
アワー
HOURボタンを押す

1回押すと1時間進みます。
押し続けると、連続して進みます。
希望の時刻で、HOURボタンから指をはなします。



“時”表示

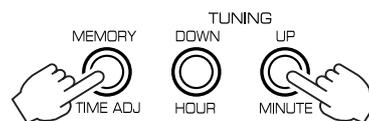


AM12:00は、午前0時を、PM12:00は、正午を表します。

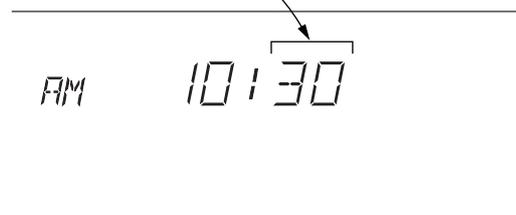
4 “分”合わせ

タイムアジャスト
TIME ADJボタンを押したまま、^{ミニッツ}MINUTEボタンを押す

1回押すと1分進みます。
押し続けると、連続して進みます。
希望の時刻でMINUTEボタンから指をは
なします。
“分”設定中は、“59”から“00”になっ
ても時間は変わりません。



“分”表示



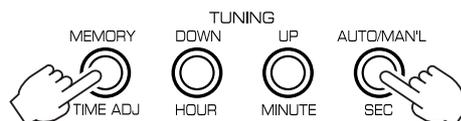
5 “秒”合わせ

セック
SECボタンを押す
(分：秒の表示に変わります)

セック
タイム アジャスト
SECボタンを押したまま、TIME ADJボタンを
押す(“0”秒になります)

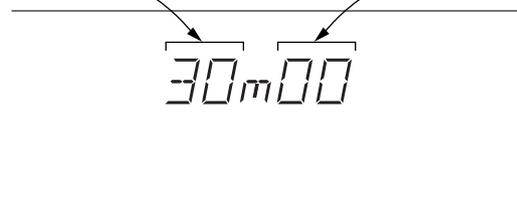
TIME ADJボタンを押す前の秒表示が30秒以上
の場合は、“分”が1分繰り上がります。このとき
“分”が59の場合、時間も1時間繰り上がります。

秒まで正しく合わせるときは電話の時報サービス
(117番)をご利用になると便利です。(有料)



“分”表示

“秒”表示



5分以上電源コードが抜けたり、停電になると、時計
は停止します。再び通電すると、時計表示は点滅し
ますので、もう一度時刻を合わせ直してください。

時計表示が点滅の場合、タイマー再生・タイマー録
音はできません。

——— “デモ表示” について ———

本機は、時刻合わせをしない場合、POWER OFFのま
ましばらくすると、店頭でのデモンストレーション用の
表示(デモ表示)機能が自動的にスタートする場合があ
ります。POWER ONすると、デモ表示は中止できま
すが、再びPOWER OFF状態が続くとデモ表示を繰り
返します。

デモ表示を解除するには、時刻合わせを行い、時
計機能を動作させてください。

基本操作(電源・音量・音質)

電源を入れるには

本機は、POWERスイッチ以外でも下記のボタンを押すと、電源が入ります。

【目印としてボタンのすぐ下にマーク(本体側では“ ”、リモコン側では“ ”)が印刷されています。】

電源を切るときは、POWERスイッチを押します。

CD部

△ OPEN/CLOSEボタン

(同時にディスクトレイが開きます。)

▷/◻◻ PLAY/PAUSEボタン

(CDがディスクトレイに入っていれば、同時にCD演奏を開始します。)

ディスク1~3ボタン(本体のみ)

(CDがディスクトレイに入っていれば、同時にCD演奏を開始します。)

デッキ部

◁▷ PLAYボタン

(テープが入っていれば、同時にテープ再生を開始します。)

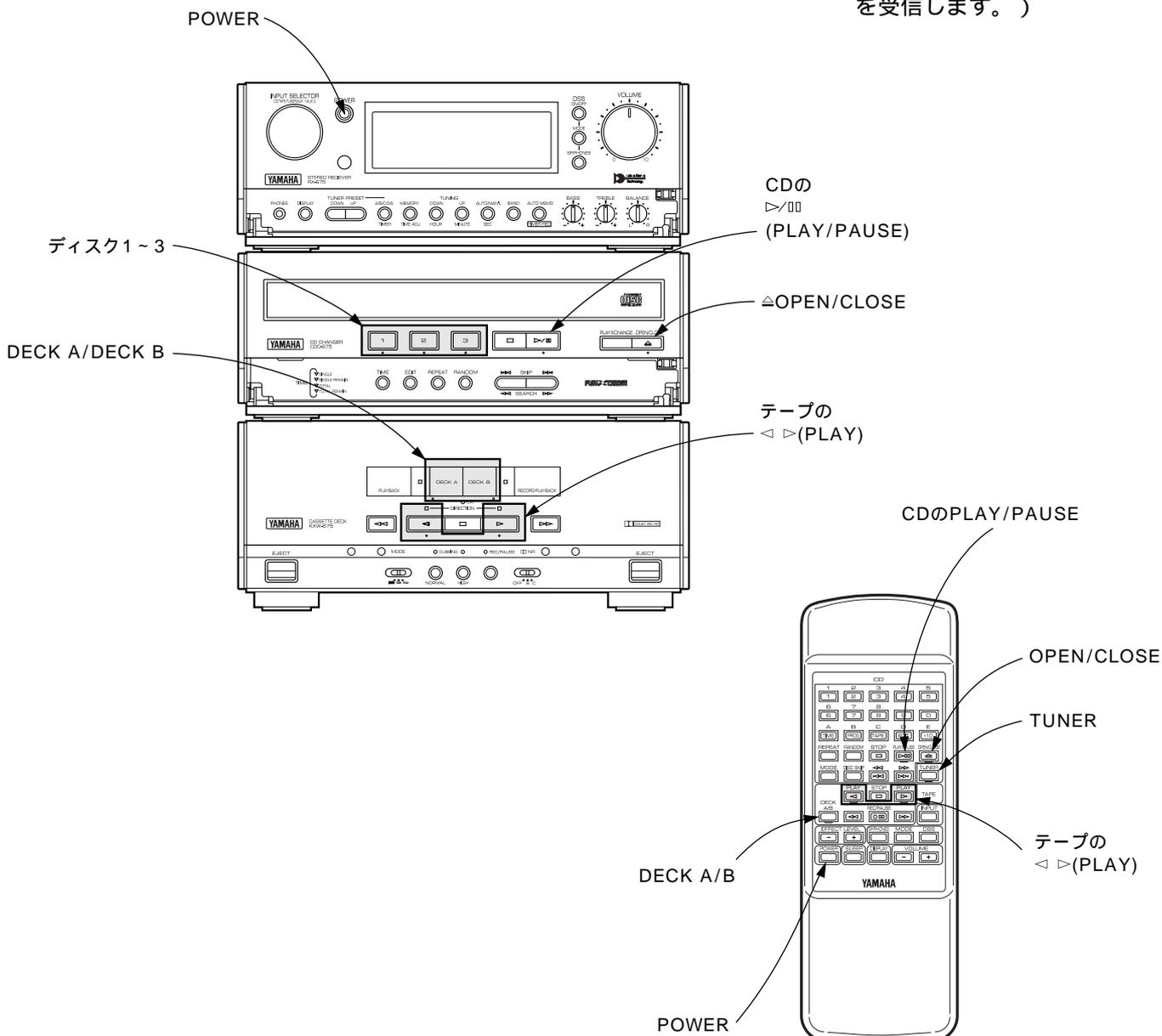
デッキ A/デッキ Bボタン

(同時にDECK A・Bを選択します。)

チューナー部

チューナー TUNERボタン(リモコンのみ)

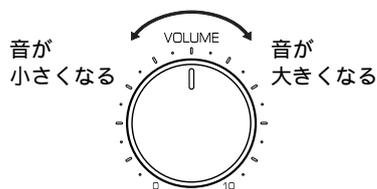
(同時に前に聴いていた放送局を受信します。)



音量を調整するには

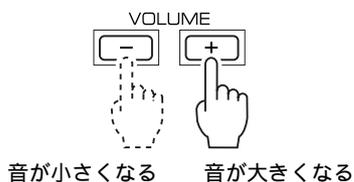
本体

ボリューム
VOLUMEつまみを回す



リモコン

ボリューム
VOLUMEボタンの「+」または「-」を押す

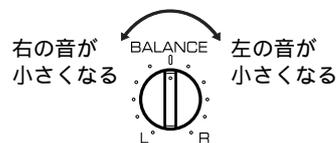


デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量(最大付近)で長時間聴くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。

録音中に音量(VOLUME・BALANCE)や音質(BASS・TREBLE)を調整しても、録音には影響ありません。

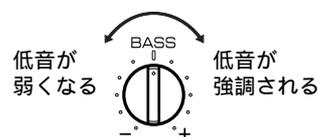
左右の音量を調整するには

バランス
BALANCEつまみを回す



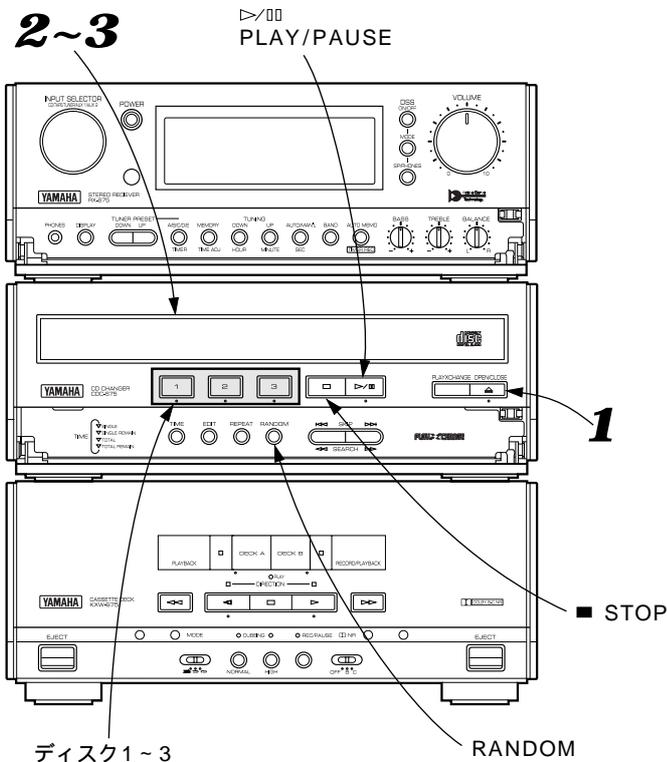
音質を調整するには

バス
BASS(低音)つまみ、
トレブル
TREBLE(高音)つまみを回す

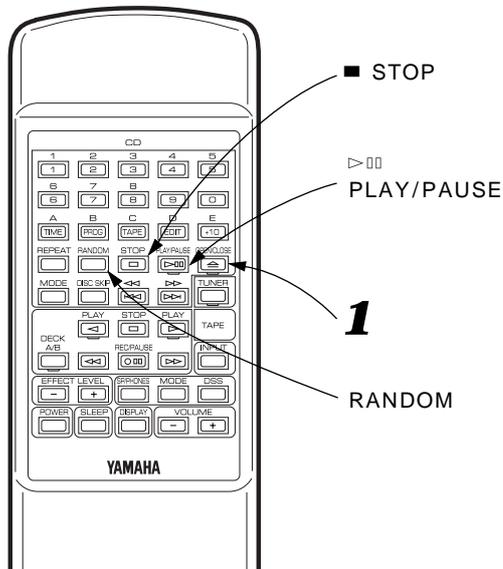


CDを聴くには

1 曲目から聴くには



CDを聴くには



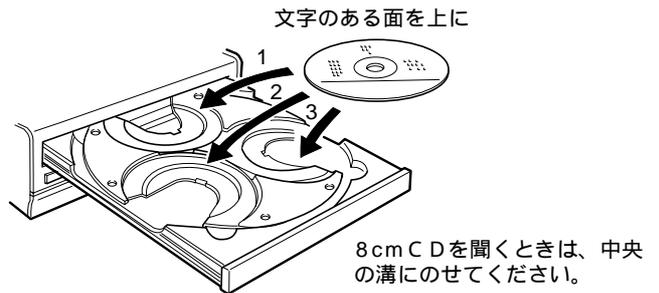
ご注意

CDをディスクトレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

1 ディスクトレイを開ける



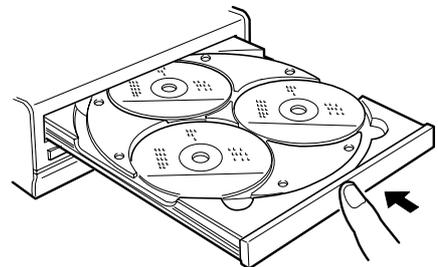
2 CDを入れる



ディスク番号1 からCDをセットします。
1枚ずつ、最大3枚までセットできます。

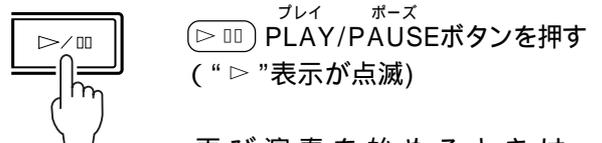
3 ディスクトレイを軽く押す

CD演奏がスタートします。

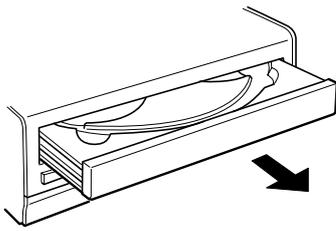


音量や音質は19ページをごらんの上調整してください。

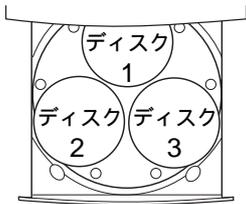
演奏を一時的に止めるには



再び演奏を始めるときは、
▶/⏸ PLAY/PAUSEボタンを押す



ディスクトレイを開けると、下図の状態になります。



ディスクトレイにはそれぞれ番号がついています。その番号がセットしたディスクの番号になります。

ワンタッチ演奏(ダイレクトプレイ)

CDがディスクトレイに入っていれば、電源が切れていても、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。

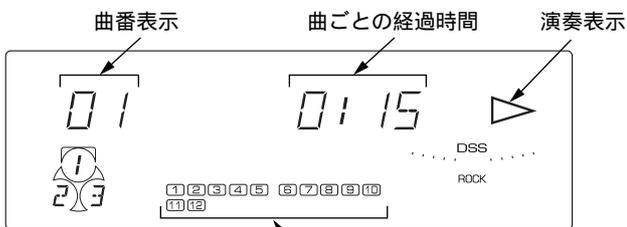


プレイ ボース
▶||| PLAY/PAUSEボタンを押す

またはディスク1~3のいずれかを押してもワンタッチ演奏ができます。

(POWER ON の状態であれば、RANDOMボタンも可能)

▶||| PLAY/PAUSEボタンを押しても、同様にディスクトレイが閉まって演奏が始まります。



ミュージックカレンダーは、演奏の終わった曲から消えて行きます。

演奏を止めるには



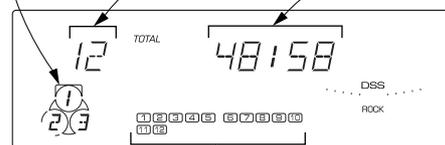
ストップ
□ STOPボタンを押す
(“▶”表示が消え、STOP表示する)

演奏中に、他のインプットに切り替えると、CDは自動的に止まります。



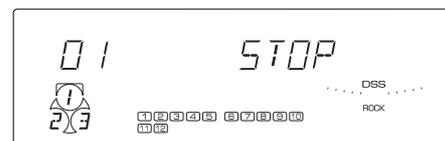
CDを入れたあと、△ OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクトレイを閉じてディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。

演奏するディスク番号 ディスクの総曲数 ディスクの総演奏時間



(数秒後に)

ミュージックカレンダー
(12曲入りの場合)
21曲以上入ったCDを入ると
“OVER” が点灯



演奏をスタートさせるときは、▶||| PLAY/PAUSEボタンを押します。

CDを聴くには

CDを3枚続けて演奏するには

モード

リモコンのMODEボタンで“オールディスクモード”を設定する



ディスク1 ディスク2 ディスク3の順で連続演奏します。

モード

MODEボタンを押すごとに、シングルディスク/オールディスクとモードが切り換わります。

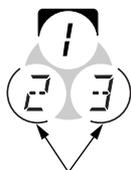
シングルディスクモード

CD1枚だけ聴くとき

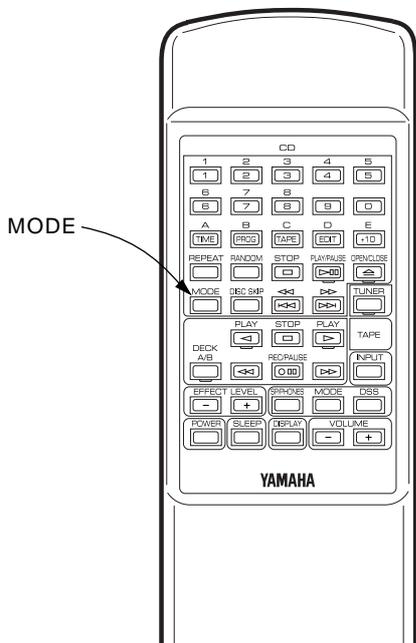


オールディスクモード

複数のCDを連続して聴くとき



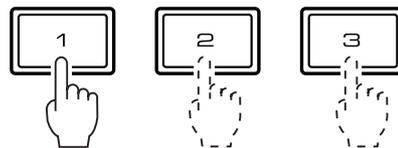
外枠が点灯



好きなCDから演奏するには

本体

演奏したいディスク番号のディスクボタン(1~3)を選んで押します。選んだディスク番号にディスクがあると、自動的に演奏を始めます。



選んだディスク番号にディスクが無い場合は、選ぶ前のディスク番号に戻り、無いディスク番号表示は消えます。

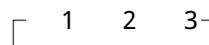
リモコン

ディスク スキップ

DISC SKIPボタンを押すごとに、ディスク番号が変わります。選択後、▶||| PLAY/PAUSEボタンを押します。

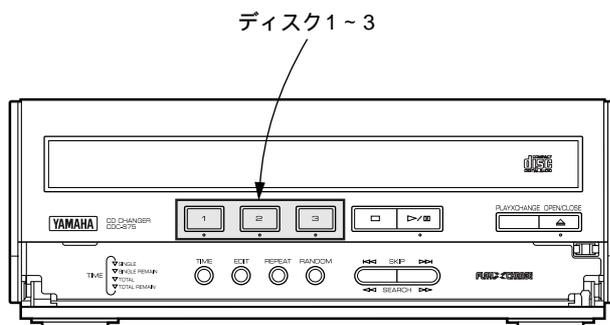


ディスク番号は

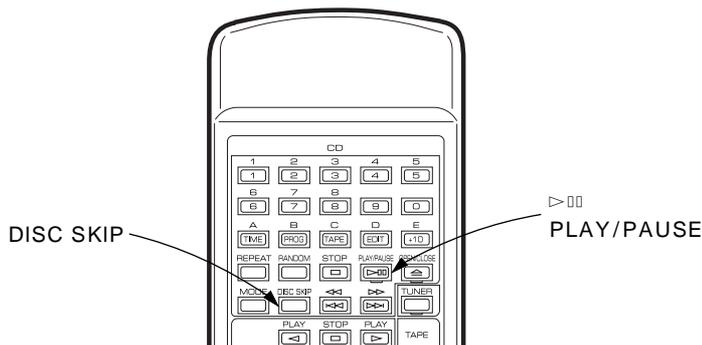


の順で変わります。

無いディスク番号は、飛ばして表示されます。



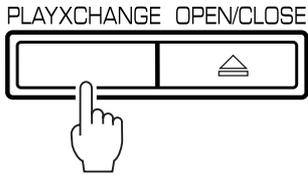
ディスク1~3



演奏中に他のディスクを交換するには

プレイエクスチェンジ

本体のPLAYXCHANGEボタンを押す

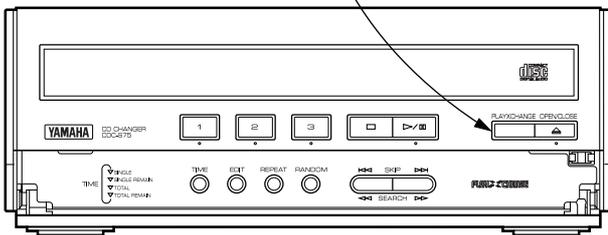


プレイエクスチェンジ

演奏中にPLAYXCHANGEボタンを押すと、CDを演奏したままトレイを開閉できます。演奏中に他のディスクの交換や取り出しができます。このとき、ディスク(1~3)ボタン(本体)とDISC SKIPボタン(リモコン)の操作はできません。

注) 複数のディスクにわたってプログラム選曲した場合は、PLAYXCHANGE操作はできません。

PLAYXCHANGE



聞きたい曲を聴くには (ダイレクト選曲演奏)

リモコンの10-KEYで曲番を指定する

1 ~ 0 ボタン : 1の位を指定

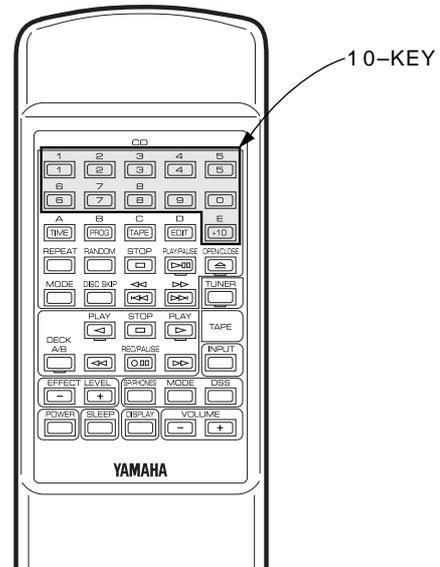
+10 ボタン : 10の位を指定

たとえば、12曲目を選ぶときは

+10 → 2 と押します。
(3秒以内に)

選んだ曲の頭から演奏を始めます。

CDに入っている曲数より大きい曲番を選ぶと、最終曲を演奏します。

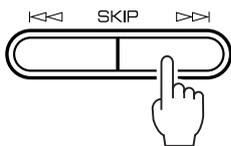


CDを聴くには

とびこして聴くには (自動頭出し演奏)

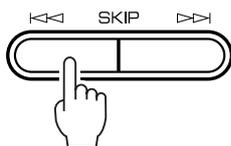
次の曲の頭から聴くには

演奏中に、 スキップボタンを押す



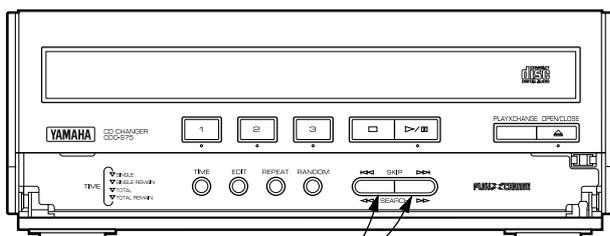
演奏中の曲を聴き直すには

演奏中に、 スキップボタンを押す



くり返し押しすと、曲番は大きく (小さく) なり、曲番表示に表示された曲から演奏が始まります。

ランダム演奏中は後退()して、とびこすことはできません。

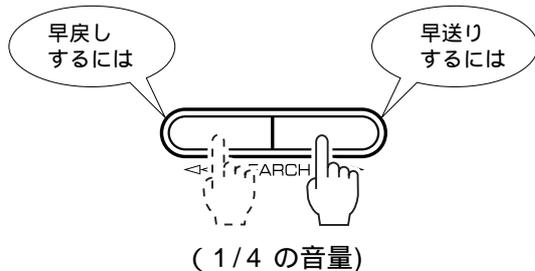


スキップ/サーチ

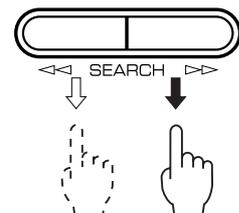
 /  ,  /  ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。

聴きたい所をさがすには (早聴き演奏)

1 演奏中に、サーチボタンを押し続ける

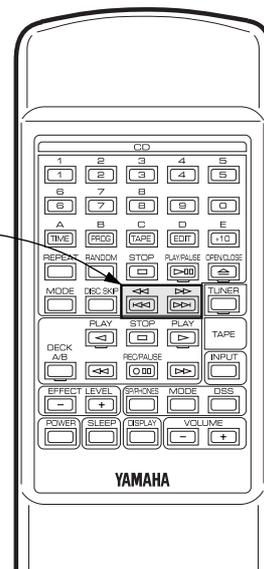


2 聴きたい所で、サーチボタンから指を離す



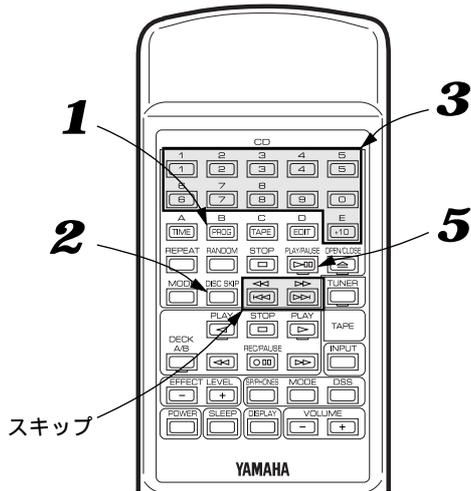
ポーズ PAUSE (一時停止) 中でもサーチ操作はできます。(音声なし)

スキップ/サーチ



聴きたい順に曲を 並び変えて聴くには (プログラム演奏)

聴きたい曲を最大で20曲までプログラムして、好きな順に聴くことができます。
プログラムする曲は、3枚のディスクから選べます。



プログラムの確認 / 訂正

1. 停止中に、**プログラム** **PROG**ボタンを押す
プログラムセット中は、**PROG**ボタンを押す必要はありません。
2以降の操作をしてください。
2. スキップボタン(または)を押す
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正したいとき
訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYで選びます。

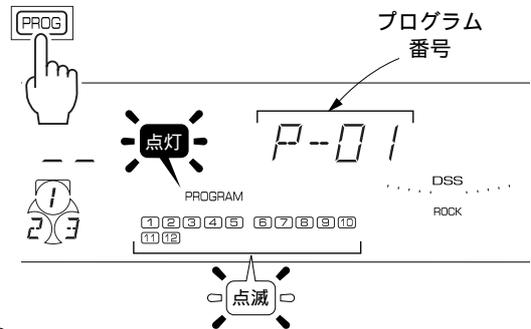
注)演奏中や一時停止中にプログラムの確認や訂正はできません。

プログラムの解除

停止中に **STOP**ボタンを押す
プログラムされた内容はすべて解除されます。またトレイを開けたり電源を切ると同様に解除されます。

リモコンで操作します

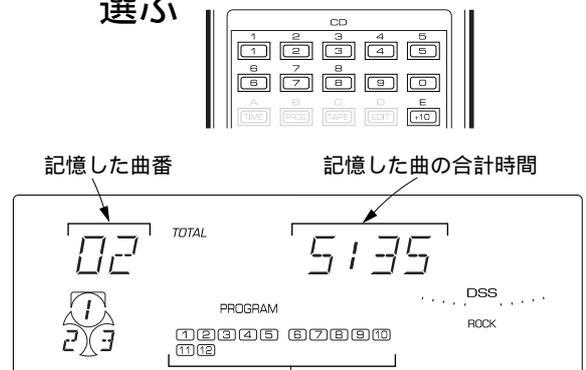
- 1 停止中に、**プログラム** **PROG**ボタンを押す



- 2 **ディスク スキップ** **DISC SKIP**ボタンでディスクを選ぶ
同一ディスクをプログラムする場合は、操作する必要ありません。③の操作をしてください。

ディスクを選ぶとき、本体のディスク1~3ボタンでも選べます。

- 3 **10-KEY**ボタンで曲番を選ぶ



プログラムした曲番が点灯し、残りの曲番が点滅します。

↓ (数秒後に)



- 4 手順②・③をくり返して好きな曲をプログラムする(20曲まで選べます)

- 5 **プレイ ポーズ** **PLAY/PAUSE**ボタンを押す

プログラム演奏がスタートします。

CDを聴くには

順不同で聴くには (ランダム演奏)

ランダム
RANDOMボタンを押す



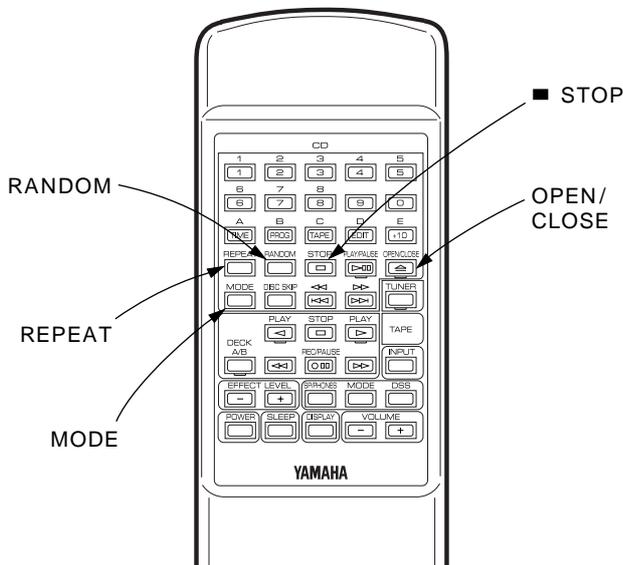
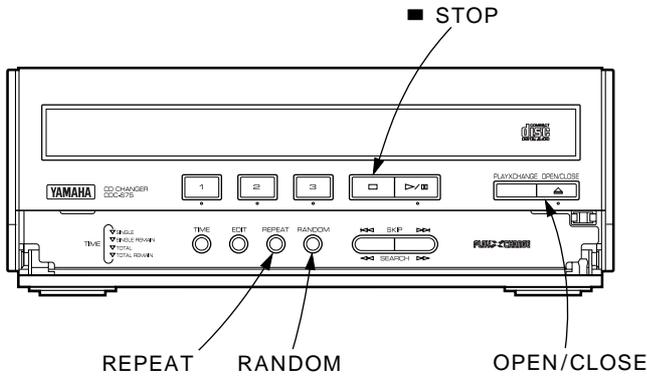
順不同に演奏を始めます。
全ディスクのランダム演奏をしたい場合は、リモコンのMODE ボタンでオールディスクモードを設定してから、RANDOMボタンを押してください。
(22ページ参照)

シングルディスクモード : 1枚のディスクをランダム演奏
オールディスクモード : 全ディスクをランダム演奏

注)プログラム選曲をすると、ランダム演奏ができません。

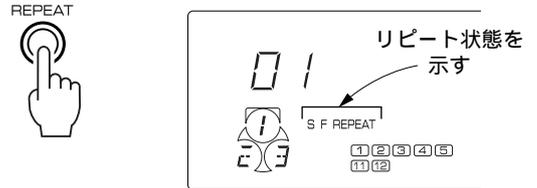
解除のしかた

■ STOP または RANDOM ボタンを押します。
(RANDOM表示が消えます) また、OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを開けると解除されます。

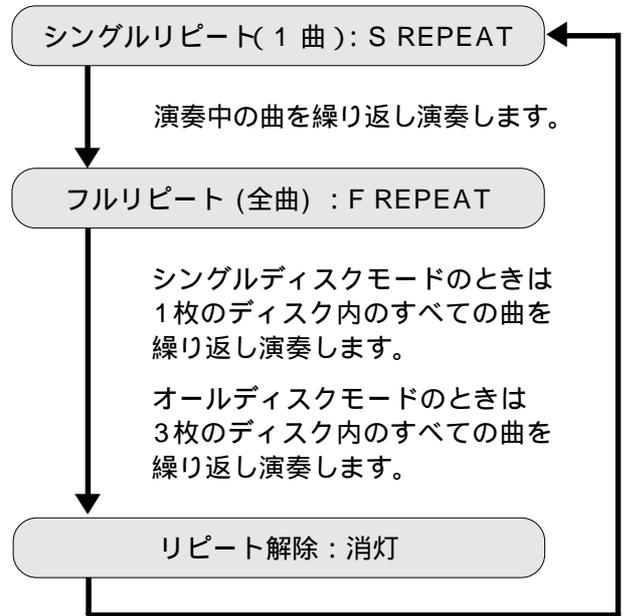


くり返し聴くには (くり返し演奏)

リピート
REPEATボタンを押す



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

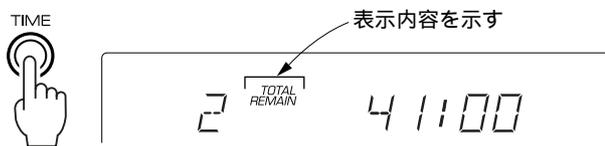


プログラム演奏・ランダム演奏もくり返し演奏できません。

注)CDエディット(40~43ページ)のリピートはできません。

演奏時間の表示を切り換えるには

タイム
TIMEボタンを押す



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

例) 2曲目を演奏しているとき

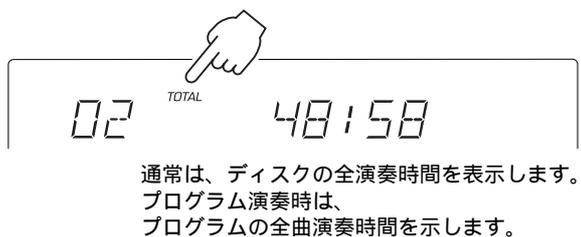
曲ごとの演奏経過時間(消灯)



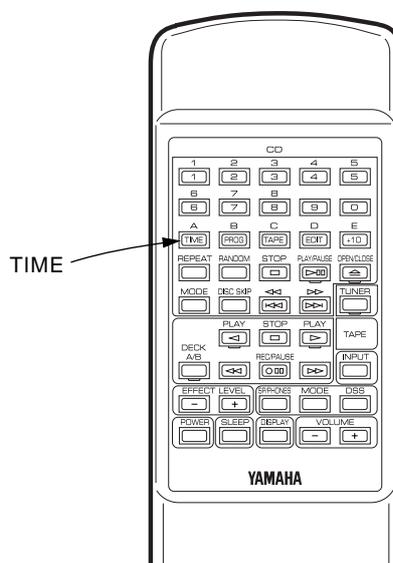
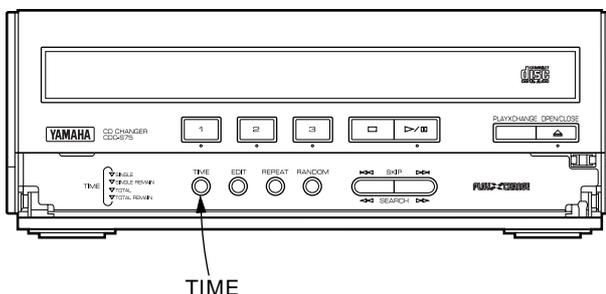
曲ごとの残り時間(REMAIN表示)



総演奏時間(TOTAL表示)



総残り時間(TOTAL REMAIN表示)



ランダム演奏中は、総残り時間の表示はしません。

CDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。

21曲以上入ったCDでは、次のような場合“...|...”が表示されます。

- ① 20曲目以降を演奏中に、残り時間に切り換えた場合。
- ② プログラム選曲で20曲目以降の曲番を記憶した場合。

プログラム選曲の総演奏時間が100分を超えた場合、3桁目の表示はしません。

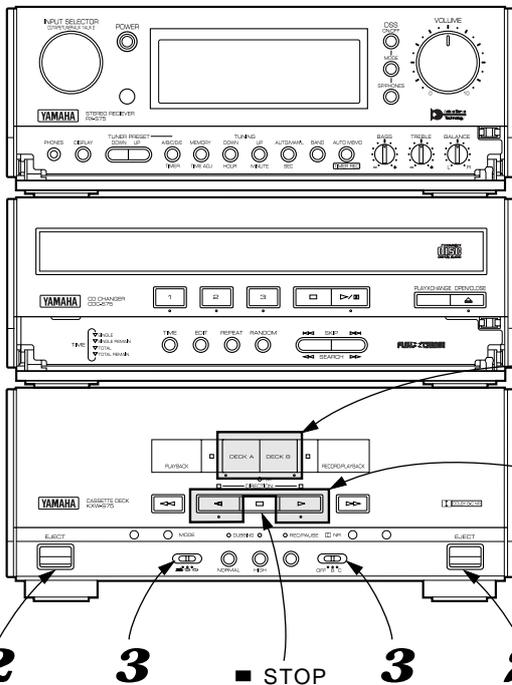
プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムの総演奏時間を一旦表示します。

テーププログラム設定中に、TIMEボタンを押すと、設定したテープの長さ(片面)に対する残量時間を一旦表示します。

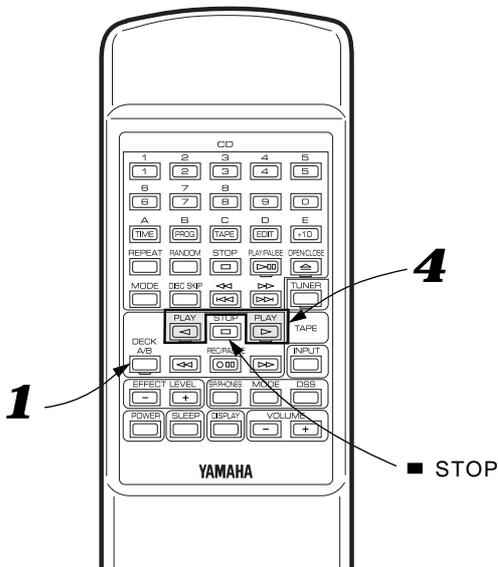
テープを聴くには

ふつうに聴くには

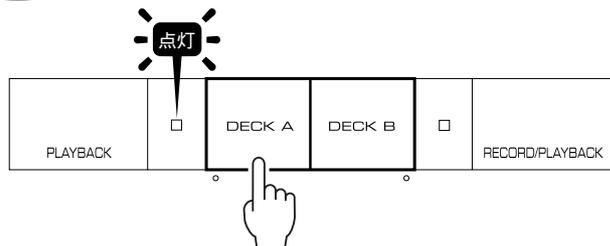
デッキA、デッキBのどちらでも再生できます。



テープを聴くには



1 デッキを選ぶ



2 テープを入れる



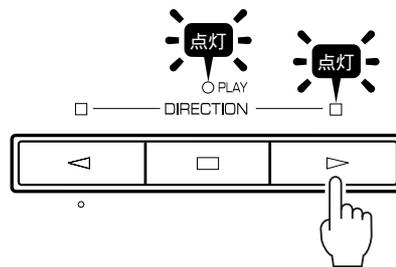
テープを入れるデッキ側の
イジェクト
EJECTボタンを押す
テープを入れ、フタを閉める

3 ドルビーノイズリダクション モード NR と MODE を選ぶ

NR	OFF	ドルビーNR録音されていないテープ
	B	ドルビー-B NR録音されているテープ
	C	ドルビー-C NR録音されているテープ

ドルビー-NRについては、58ページ参照

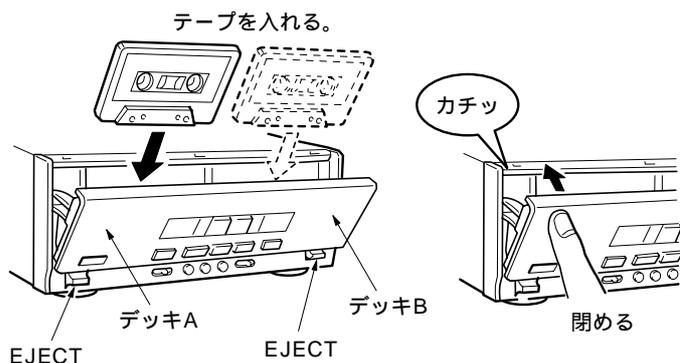
4 聴きたい面の再生をスタートさせる



音量や音質は19ページをごらんの上調整してください。

デッキA(デッキB)を再生中に、デッキB(デッキA)に切り換えて聴きたい場合は、操作①～④の手順を行ってください。

選んだデッキの表示ランプが点灯する



MODE	↔	片面だけを再生するとき
	↪	両面を1回だけ再生するとき (▶ から ◀ 方向へ)
	↻	両面を繰り返して再生するとき (8回でストップします)

	A面(手前の面)を再生するとき
	B面(反対の面)を再生するとき

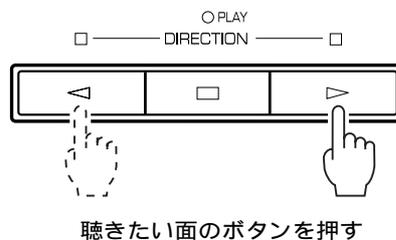
テープを止めるには



再生中に、他のインプットに切り換えると、テープは自動的に止まります。

ワンタッチ再生(ダイレクトプレイ)

テープが入っていれば、電源が切れていても、プレイ (<または>) ボタンを押すだけでテープ再生することができます。

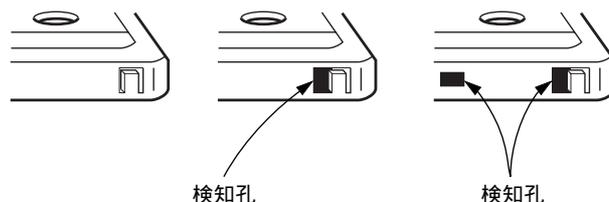


テープを聴くには

—オートテープセレクト機構について—

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、ハイポジションテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。

ノーマルテープ ハイポジションテープ (TAPE / クローム) メタルテープ



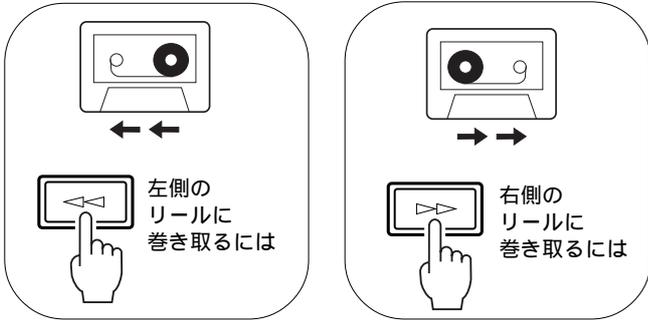
ご 注 意

カセットテープを取り出すときは、 STOPボタンを押して停止状態にしてから、EJECTボタンを押してください。

テープを聴くには

テープを早く巻き取るには

停止中に<< または >> ボタンを押す



早巻き方向のDIRECTIONランプが速く点滅します。

お望みのところまで巻き取ったら  STOPボタンを押します。

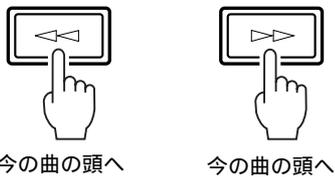
テープ早巻き中にテープの端まで送ったときは、MODEスイッチの位置により次のように自動再生します。

	>> 早巻き中	<< 早巻き中
	ストップする	ストップする
	< 方向を再生する	ストップする
	< 方向を再生する	> 方向を再生する

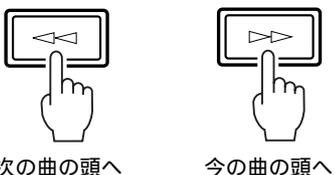
曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)

再生中に<< または >> ボタンを押す。

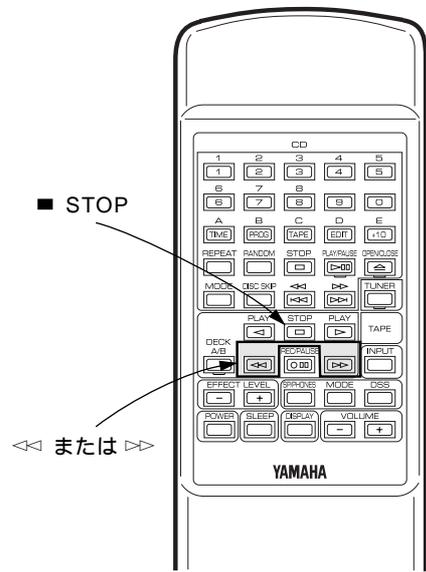
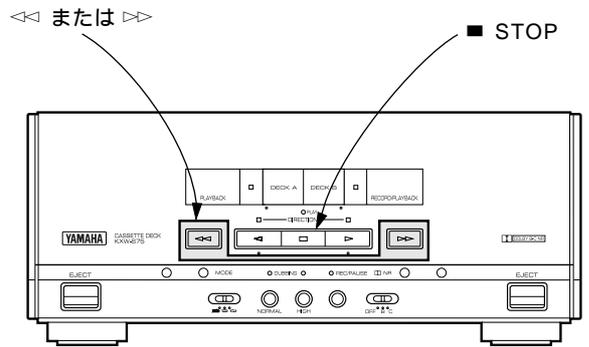
A 面(手前の面)を聴いているとき



B 面(裏の面)を聴いているとき



頭出しをする方向のDIRECTIONランプがゆっくり点滅します。



次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作をしないことがあります。

録音レベルが低すぎたり(音が小さい)、会話など音声がとぎれているとき。

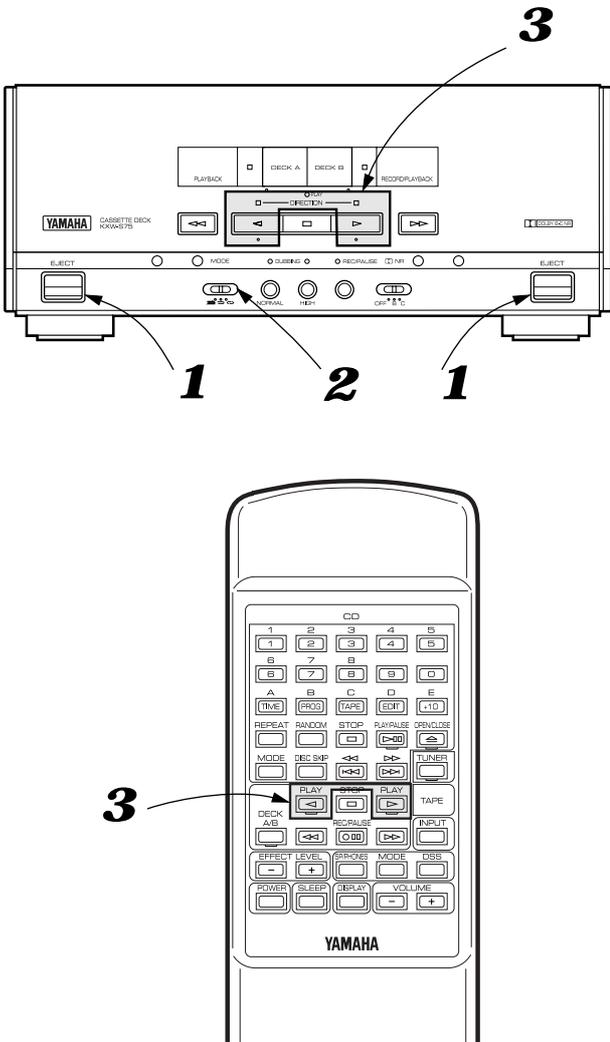
テープの曲間(無音部)が4秒以下のとき。

音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。

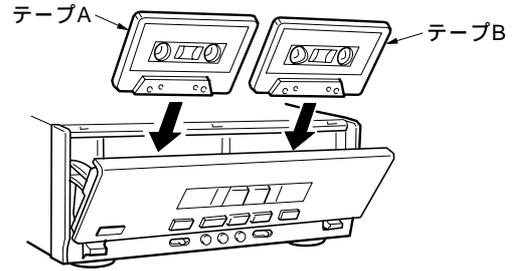
曲間に大きな雑音(ノイズ)が録音されているとき。

曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

テープAとテープBを連続して聴くには(連続再生)

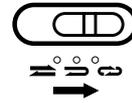


1 両方にテープを入れる



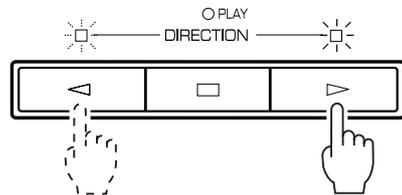
2 モード
MODEスイッチを“ ”にする

MODE



“ ”の位置では、連続再生できません。

3 または プレイ
PLAYボタンを押す



テープを聴くには

③の操作で、押すPLAYボタンによって、再生する順番が異なります。

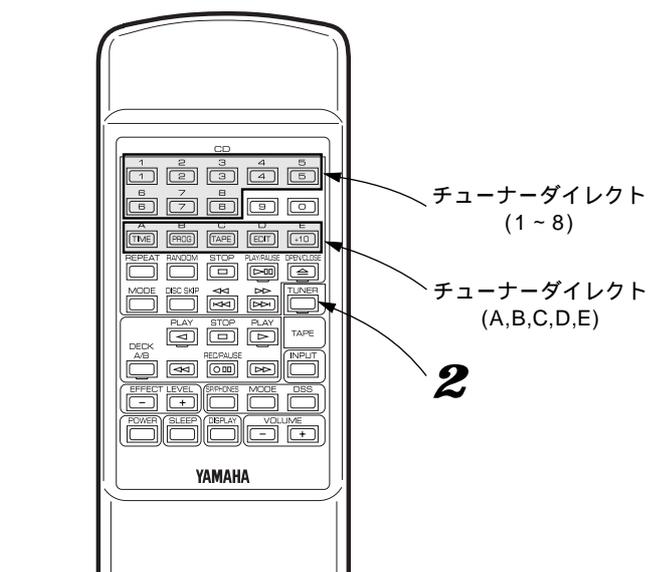
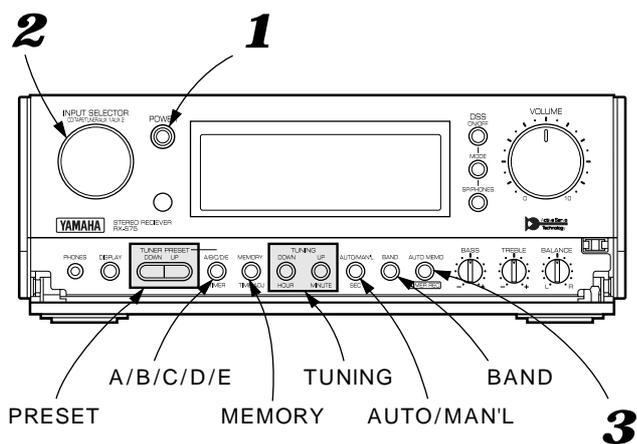
ボタン操作	再生順序
	<p>テープA (A面) → テープA (B面) → テープB (A面) → テープB (B面)</p> <p>テープAのA面(手前の面)から再生します テープBのB面が8回再生し終わったところストップします。 デッキA/B選択がBの場合は、テープBから連続再生します。</p>
	<p>テープA (B面) → テープB (A面) → テープB (B面) → テープA (A面)</p> <p>テープAのB面(反対の面)から再生します テープBのB面が8回再生し終わったところでストップします。 デッキA/B選択がBの場合は、テープBから連続再生します。</p>

ラジオ放送を聴くには

まず最初に放送局を記憶させます。

A～Eのグループにそれぞれ8局、合計40局記憶(メモリー)することができ、簡単に呼び出すことができます。

放送局を記憶させるには (オートメモリー)

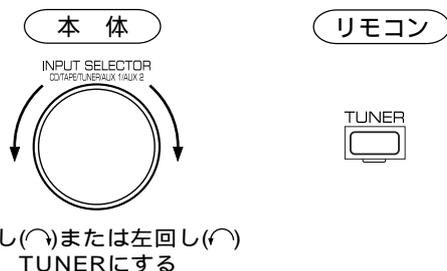


ラジオ放送を聴くには

1 電源を入れる



2 チューナー インプットをTUNERにする



3 オートメモリー AUTO MEMOボタンを約2秒間押し続ける (オートメモリーをスタート)



—チューナーの記憶保持について—

電源プラグを電源コンセントから外していても、チューナーの記憶内容は1週間程度記憶しています。ただし、1週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

オートメモリーや自動同調しているときに、周囲に妨害電波があると、そこで自動停止することがあります。このようなときは、マニュアルメモリーで記憶させてください。

手動で記憶させるには (マニュアルメモリー)

オートメモリーで、電波が弱くて記憶されないときや電波が強すぎて周波数がずれるとき、または、記憶内容の一部を変えたいときは、次の操作をしてください。

1. インプットを^{チューナー}TUNERにする。
2. ^{バンド}BANDボタンで希望のバンドを選ぶ。
3. ^{チューニング}TUNINGボタンの^{ダウン}DOWNまたは^{アップ}UPで希望の放送局を選ぶ。

自動同調

^{オート}AUTO/^{マニュアル}MAN'Lボタンで^{オート}AUTO ^{チューニング}TUNINGを点灯させる。

DOWNボタン : 周波数が下がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

UPボタン : 周波数が上がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

手動同調

^{オート}AUTO/^{マニュアル}MAN'Lボタンで^{オート}AUTO ^{チューニング}TUNINGを消灯させる。

DOWNボタン : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が下がり、押し続けると連続して周波数が下がります。

UPボタン : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が上がり、押し続けると連続して周波数が上がります。

4. ^{メモリー}MEMORY ボタンを押す。
↓ (5秒以内に)
5. A/B/C/D/Eボタンで記憶させたいグループを選ぶ。(リモコンのチューナーダイレクトボタンA~Eも使用できます。)
↓ (5秒以内に)
6. 本体の^{プリセット}PRESETボタンの^{ダウン}DOWNまたは^{アップ}UPで記憶させたい番号を選ぶ。
(リモコンのチューナーダイレクトボタン1~8も使用できます。)
↓ (5秒以内に)
7. もう一度、MEMORYボタンを押すと、選んだプリセット番号に記憶されます。

TUNERの文字が右へスクロール(流れ)して、周波数表示に切り替わります。

FMの放送局をA1から順に記憶し、次にAMの放送局を記憶します。

周波数の低い方から順番に記憶します。

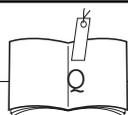
最大40局まで記憶します。

記憶が終わると、MEMORYの点滅が消えて、最初に記憶された放送局が聴こえます。
(AUTO TUNINGは点灯します。)

基本的にFMは、A、B、Cのグループ内に、AMはD、Eのグループ内に記憶しますが、受信できる局が少なく規定のグループに達しない場合は、グループを詰めて記憶します。
(受信できる局がなくても、FM、AMで1グループずつは確保します。)

グループ内で余ったプリセット番号や、余ったグループのプリセット番号は、そのバンドのスタート周波数(一番低い周波数)を記憶します。

放送局を記憶させたあと、もう一度オートメモリーさせると、先に記憶されている局は消えます。



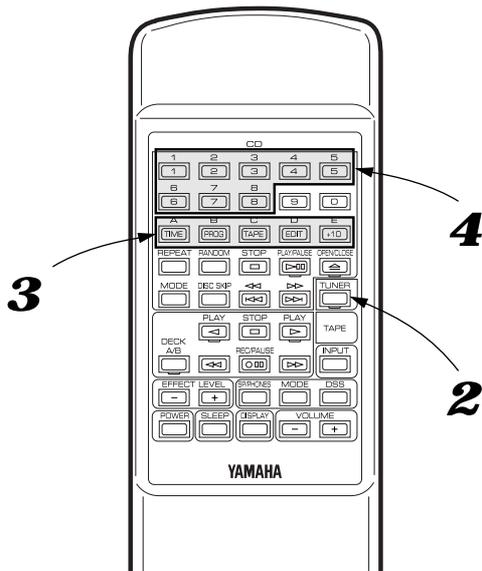
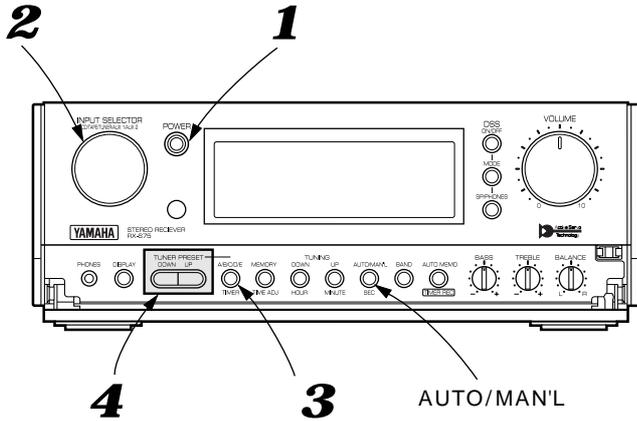
^{オート}AUTO/^{マニュアル}MAN'Lボタンを使ってステレオ/モノラルを設定することができます。電波の弱い局では、ステレオモードで受信すると雑音が出る場合があります。この場合、モノラルモードで受信すると雑音を低減することができます。

AUTO TUNING 点灯 オートステレオ
AUTO TUNING 消灯 強制モノラル

ラジオ放送を聴くには

記憶した放送局を呼び出すには

あらかじめ、「放送局を記憶させるには」の説明をごらんになり、放送局を記憶させておいてください。
(記憶させないと、呼び出すことはできません。)



ラジオ放送を聴くには

1 電源を入れる

POWER

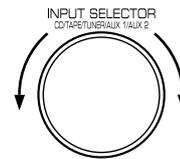


POWER ボタンを押す

2 インputをTUNERにする

本体

リモコン



右回し(↻)または左回し(↻)して、TUNERにする

3 記憶させたグループを選ぶ

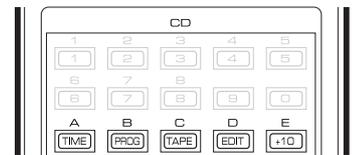
本体

リモコン

A/B/C/D/E



TIMER

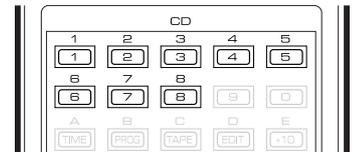


4 記憶させた番号を選ぶ

本体

リモコン

TUNER PRESET
DOWN UP

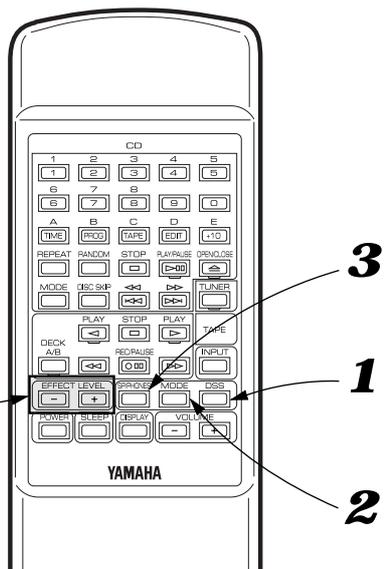
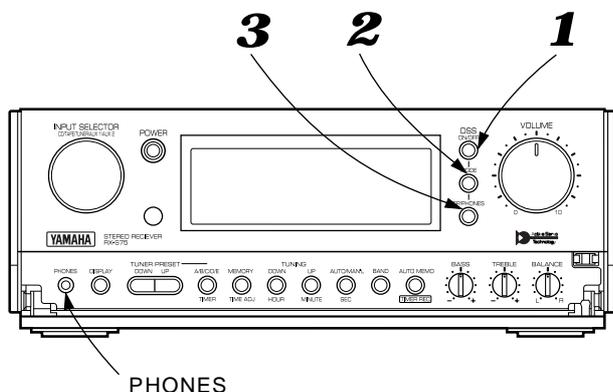


音量や音質は19ページをごらんのうえ調整してください。

DSS(音場効果)について

音場プログラムを選ぶには

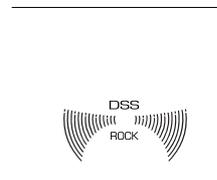
4種類の音場プログラムを呼び出して、その臨場感と効果をお楽しみいただけます。また、タイプの切り換えによりヘッドホンでも楽しめます。



DSS(音場効果)について

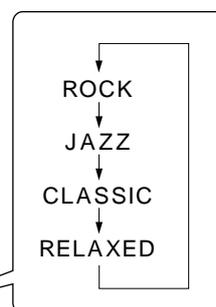
EFFECT LEVEL

1 DSS(効果音)をON(入)にする



レベル表示が点灯

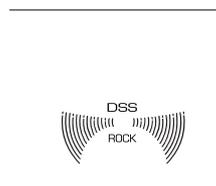
2 音場プログラム(モード)を選ぶ



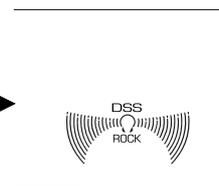
モード
MODEボタンを押すたびに、切り換わります。

3 スピーカー/ヘッドホン(タイプ)を選ぶ

SP/PHONES



スピーカー



ヘッドホン

スピーカー ホーンズ
SP/PHONESボタンを押すたびに、切り換わります。

DSSの録音について

DSS効果をテープに録音することができます。DSS録音したテープをヘッドホンステレオやカーステレオ等で再生すると、拡がり感のある音でお楽しみいただけます。

DSS録音したテープを本機で再生するときは、DSSをOFF(解除)してご使用ください。

注)テープダビングは、テープに録音された音をそのまま録音します。新たにDSS効果を加えて録音することはできません。

音場プログラムの特長

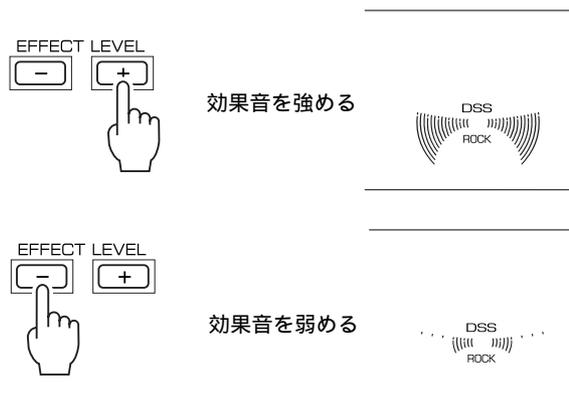
プログラム	特長または最適ソース
ロック ROCK	低域と高域を強調したモードで、ロック・ポップス系の音楽に適しています。
ジャズ JAZZ	楽器が前に出てくるような立体感が加わり、とてもリッチな臨場感を再現します。
クラシック CLASSIC	音場が広がるモードで、クラシック等の音楽に適しています。
リラクステッド RELAXED	BGMなど比較的小音量で聴くイージーリスニングに適したモードで、広がり感のある心地良い音に変わり、快適な雰囲気再現します。

スピーカー / ヘッドホンの特長

タイプ	特長
スピーカー	スピーカーで聴く場合に、最も音場効果があるようにプログラムされています。
ヘッドホン	ヘッドホンで聴く場合に、最も音場効果があるようにプログラムされています。

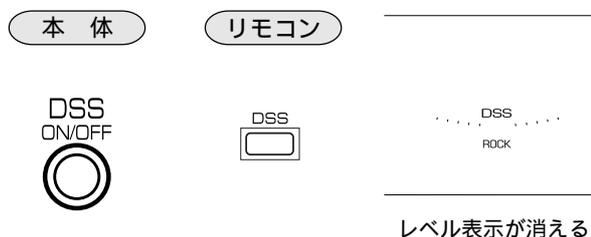
効果音の強弱をつけるには

リモコンのEFFECT LEVELボタンで強弱を調整する (EFFECT LEVELは、音場プログラム毎に調整できます。)



効果音の解除

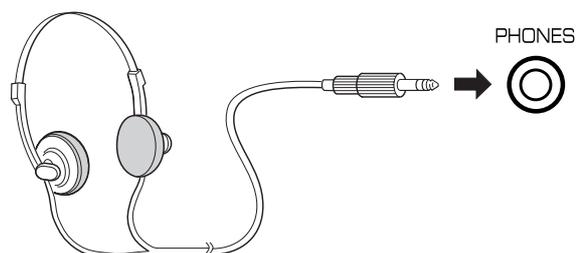
DSSボタンを押す



ヘッドホンで聴くには

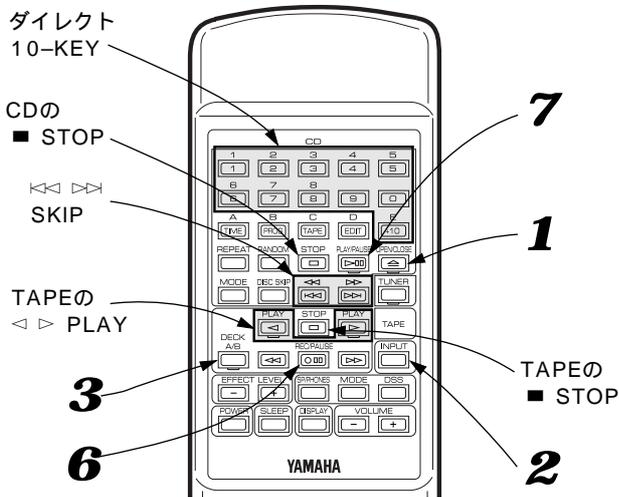
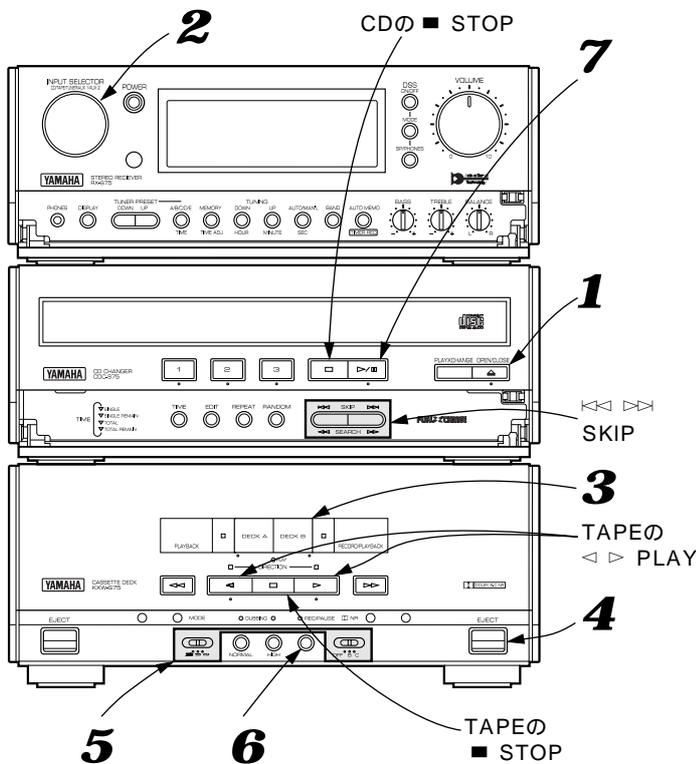
接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聴こえなくなります。

インピーダンス16 ~ 50 (推奨32)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。



CDを録音するには

ふつうに録音するには



お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(58ページ参照)

大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。

録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。

万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

1 録音したいCDを入れ、ディスク

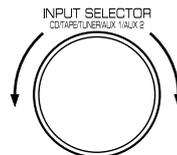


ディスクトレイの開閉
オープン クローズ
はOPEN/CLOSEボタ
ンを押す

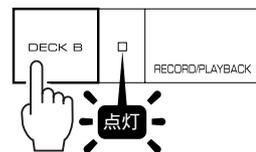
2 インputをCDにする

本体

リモコン



3 デッキ
DECK Bを選ぶ



デッキ
DECK Bボタンを押す

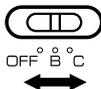
4 デッキ
DECK Bに録音用テープを入れる



デッキ イジェクト
DECK B側のEJECTボ
タンを押す

5 ドルビー ノイズリダクション モード
NR と MODEを選ぶ

NR



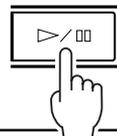
OFF	ドルビーNR録音しないとき
B	ドルビーB NR録音するとき
C	ドルビーC NR録音するとき

6 録音待機状態にする



レック ポーズ
テープのREC/PAUSE
ボタンを押す

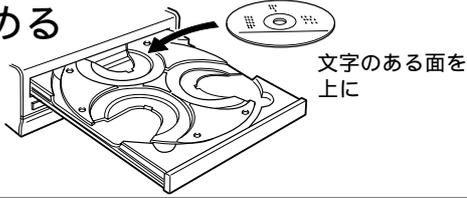
7 録音をスタートさせる



CDの
ポーズ
PLAY/
PAUSEボタンを押す

DSS(音場効果)を加えて録音することができます。(36ページ)

トレイを閉める



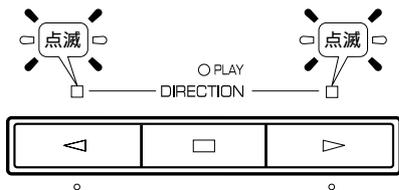
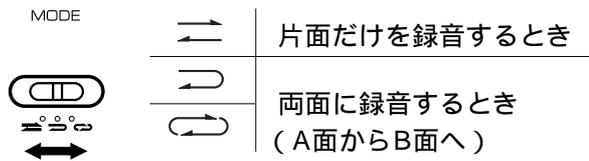
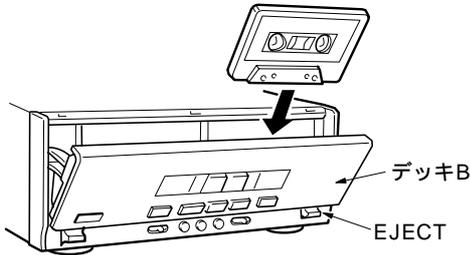
本体のINPUT SELECTORつまみは、右回し(↻)または左回し(↻)して、CDにする。

リモコンのINPUT ボタンは、数回押して、CDにする。

テープを入れる前に、走行方向を選んでください

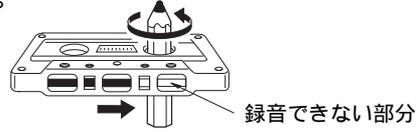


両面に続けて録音するときは、A面(▷方向)を選びます。(B面から始めてもA面には切り換わりません。)



CDの演奏が始まる少し前に、録音が始まります。

テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



録音を一時的に止めるには

○ REC/PAUSE レック ポーズ REC/PAUSEボタンを押す
(テープが止まり、録音の待機状態になります。)



再び録音を始めるときは、テープの プレイ ◁ または ▷ PLAYボタンを押します。

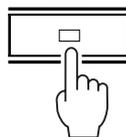
CDを変更して録音するには

1. 録音中にCDの ストップ □ STOPボタンを押す。
約4秒後にテープも止まり、録音の待機状態になります。
2. CDを変更して、つぎに録音したい曲を選ぶ。
CDの変更 .. リモコンの ディスク スキップ DISC SKIPボタンを押し、希望のディスクにします。
選曲 リモコンの10-KEYボタンを使い選曲します。

ふたたび録音が始まります。
選曲はSKIPボタンでもできますが、選曲後、CDの プレイ ポーズ ▷/⏏ PLAY/PAUSEボタンを押してください。

CDをプログラム演奏やランダム演奏の状態にしても、録音することができます。このとき、次の曲の頭出しに4秒以上の時間がかかるときは、テープが自動的に一時停止します。曲の頭を見つけると再び録音が始まります。

録音を止めるには



テープの ストップ □ STOPボタンを押す
CDの演奏を止めるには、CDの ストップ □ STOPボタンを押す。

CDを録音するには CDとデッキの連動した自動編集録音(CDエディット)

本機は、CDからテープのA面・B面へ自動的に編集録音(CDエディット)することができます。CDエディットには、次の5種類があります。目的に合わせて使い分けてください。

自動編集録音(CDエディット)をスタートさせると、自動的にA面側のテープ先頭まで巻き戻して、必ず▷方向から録音が始まります。また、曲と曲の間には4秒間のスペース(無録音部分)が自動的にできます。

注)CDエディットでの繰り返し(リピート)録音はできません。

	テープの終端付近をフェードアウト録音したい。 (フェードアウト：徐々に音が小さくなる)	テープ長に合わせて曲切れしないように録音したい。 (フェードアウト録音はしません)
エディット録音 41ページ)	<p>曲順通りに録音します。</p>	<p>曲順通りに録音します。</p>
プログラムエディット録音 41ページ)	<p>プログラム選曲すれば、お好みの曲順で録音できます。</p>	<p>A面/B面ともテープの最後で入りきれない曲があると自動的に余白となります。 全曲録音した場合、テープの残りは余白となります。</p>
	<p>A面をテープ終端まで一度録音した後、テープを巻き戻してA面の最後の曲を再び録音し直し、テープ終端付近を自動的にフェードアウト録音します。 A面でフェードアウトした曲は、B面の頭から再び録音します。 曲数が多い場合、B面の終端付近もフェードアウト録音します。 全曲録音した場合は、自動的にストップします。</p>	<p>テープ時間に入りきらなくなるまで、曲を自分で選ぶことができます。</p> <p>お好みの曲をどんどん選んでも、本機が残りの時間内に入る曲を教えてくださいますのでテープの終わりまで曲が途切れる心配がありません。</p>
		<p>テープの余白が少なくなるように、自動的にプログラムします。</p> <p>A面の余白が少なくなるように、自動的に曲の組み合わせをします。 曲数が多い場合、B面も同様に残った曲で余白が少なくなるように組み合わせをします。 全曲録音した場合、テープの残りは余白となります。</p>

エディット録音

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

38ページの①～⑤の操作をする。
デッキのMODEは「」を選んでください。

2 自動編集録音をスタートさせる



エディット
EDITボタンを押す

テープ長に余裕があっても、CD演奏終了後に録音は停止します。

シングルディスクモードのとき：CD1枚で終了
オールディスクモードのとき：ディスク番号3のCDで終了

プログラムエディット録音

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

38ページの①～⑤の操作をする。
デッキのMODEは「」を選んでください。

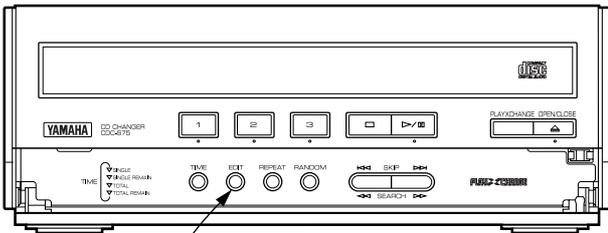
2 プログラム選曲する

25ページの①～④の操作をする。

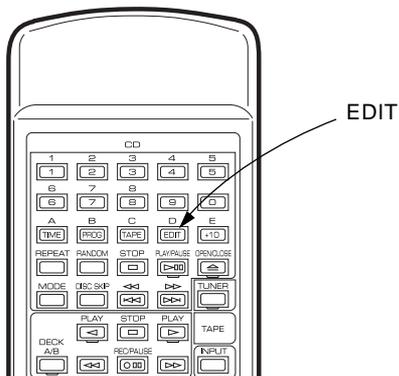
3 自動編集録音をスタートさせる



エディット
EDITボタンを押す

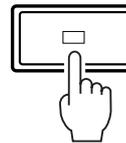


EDIT



EDIT

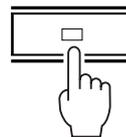
自動編集(エディット)機能を取り消すには



CDの  STOPボタンを押す

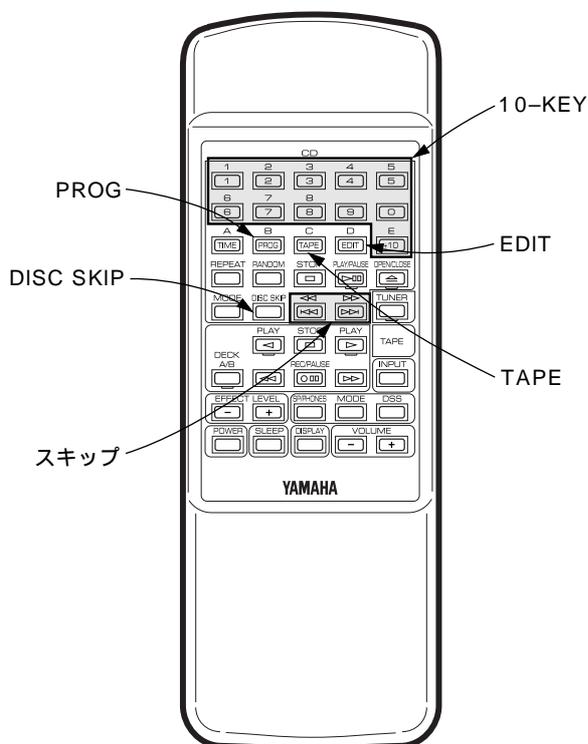
録音が始まっている場合には、テープに4秒間の無録音部分を作って終了します。

または



テープの  STOPボタンを押す
CDも自動的に止まります。

テープエディット録音



テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。

“ERR (エラー)”と表示される場合は、テープの残り時間内に入り切らない曲をプログラム選曲したことを表わしています。

CDを録音するには

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

38ページの① ~ ⑤の操作をする。
デッキのMODEは“”を選んでください。

2 テープの長さを選ぶ

リモコンのTAP^{テープ}Eボタンを押してテープの長さに合わせる

C46 C54 C60 C90 解除

C46、C54、C60、C90以外のテープを使うときは、リモコンの10-KEYを操作して時間を合わせます。

(例)C30のテープを使うとき

C-46, C-54, C-60, C-90のいずれかのポジションで(+10) (+10) (+10) (0)と押します。
((3) (0) と押しても同じです)

すでにプログラム選曲されている場合、テープの長さを設定できません。そのときは一度CDのSTOPボタンを押してプログラム選曲を解除してください。

3 自動編集録音をスタートさせる

エディット
EDITボタンを押す

マニュアルテープエディット録音

1 前ページの①～②を行なう

CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
テープの長さを指定します。

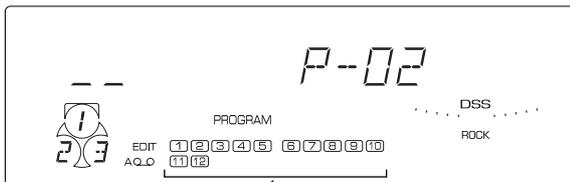
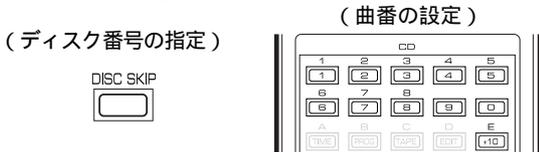
2 A面の録音曲を選ぶ

プログラム
PROGボタンを押す



次にA面へ録音したい曲を選ぶ

20曲以上入ったCDでは、19曲目までプログラムできます



プログラムした曲番が点灯して、テープの残り時間に入る曲番が点滅します。

A面のテープ時間内に入るプログラム選曲を終えたならば、次の③の操作を行ってください。

3 B面の録音曲を選ぶ

テープ
TAPEボタンを押す

一旦 'Pu' 表示したあと
○○ Bに変わります。

次にB面へ録音したい曲を選ぶ



B面のテープ時間内に入るプログラム選曲を終えたならば、次の④の操作を行ってください。

4 自動編集録音をスタートさせる

EDIT



エディット
EDITボタンを押す

オートテープエディット録音

1 前ページの①～②を行なう

CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
テープの長さを指定します。

2 自動選曲をスタートさせる

プログラム
PROGボタンを押す



テープ
次にTAPEボタンを押す



1枚のCD内の曲を設定したテープ長に合わせてA面・B面に自動選曲を行います。

A面の自動選曲中は、「AP A >」表示、B面の自動選曲中は、「AP B >」表示します。

3 自動編集録音をスタートさせる

エディット
EDITボタンを押す



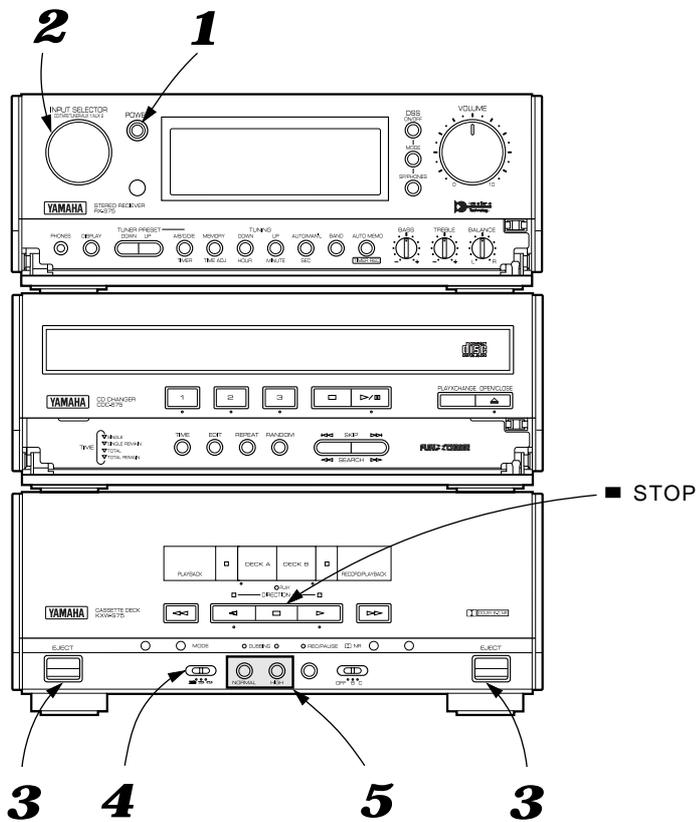
プログラムの確認 / 訂正

プログラムエディット / マニュアルテープエディット / オートテープエディット録音は、プログラムの確認および訂正ができます。

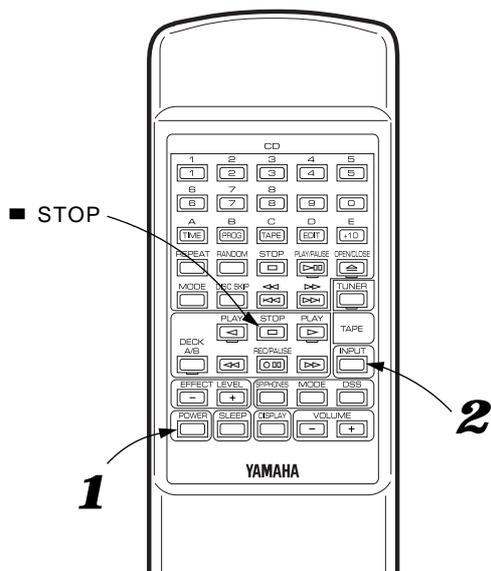
1. EDITボタンを押して自動編集録音を始める前に行います。
2. スキップボタン(◀ または ▶)を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正するときは、訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYで選びます。

テープダビングするには

テープダビングは、テープAに録音されている音がそのまま同じレベルでテープBに録音されます。DSSや NRスイッチを切り換えても録音には影響しません。



テープダビングするには



1 電源を入れる

POWER

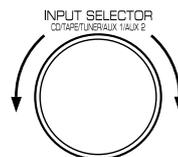


POWER ボタンを押す

2 テープ インプットをTAPEにする

本体

リモコン



右回し(↻)または左回し(↻)して、TAPEにする

リモコンは数回押ししてTAPEにする

3 DECK A側に再生用、DECK B側に録音用のテープを入れる

EJECT



DECK A側とDECK B側のEJECTボタンを押す

4 モード MODEを選ぶ

MODE



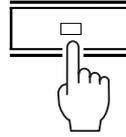
5 テープダビングをスタートさせる

○ DUBBING ○

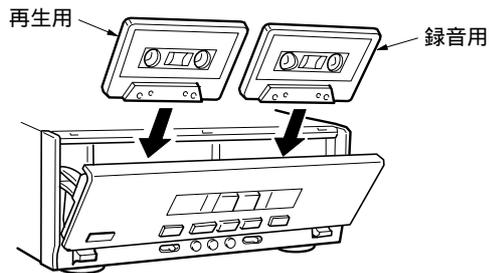


テープダビングするには

テープダビングを止めるには



 ^{ストップ} STOPボタンを押す
テープAとテープBが同時に
止まります。



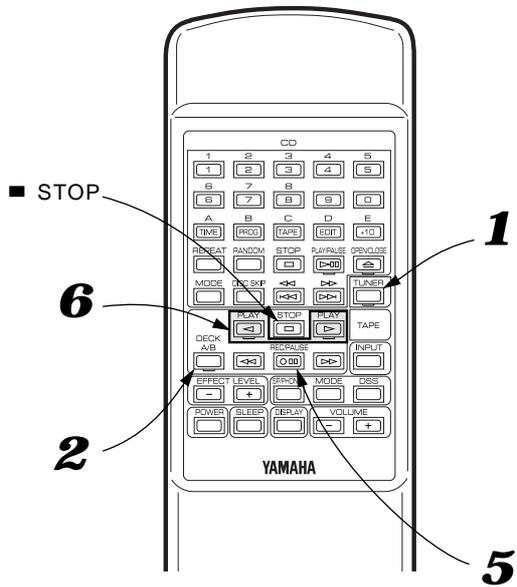
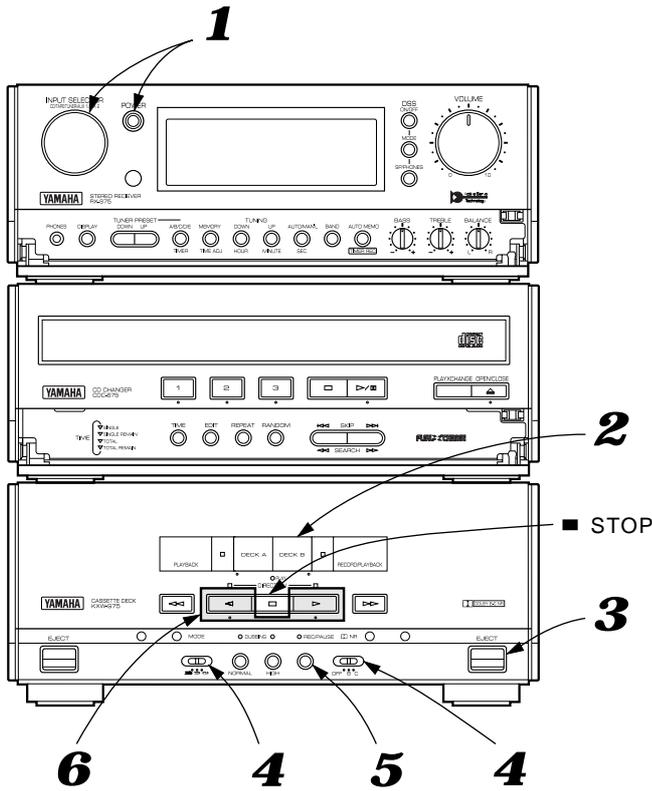
両面に続けてダビングするときは、同じ長さのテープを使うことをおすすめします。
どちらか一方のテープが先に終わると、自動的にテープダビングは終了します。

	A面(手前の面)だけをダビングするとき
	A面(手前の面)B面(反対の面)をダビングするとき
	

NORMAL	通常の早さでダビング
HIGH	約2倍の早さでダビング

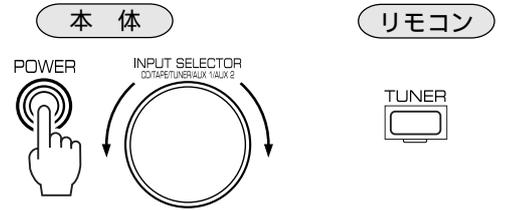
テープのA面(手前の面)からダビングが始まります。

ラジオ放送を録音するには



ラジオ放送を録音するには

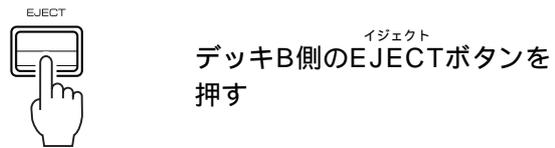
1 電源を入れ、インプットをチューナーにする
TUNERにする



2 デッキ DECK Bを選ぶ



3 デッキ DECK Bに録音用テープを入れる



4 ドルビーノイズリダクション モード NR と MODEを選ぶ

OFF	ドルビー-NR録音しないとき
B	ドルビー-B NR録音するとき
C	ドルビー-C NR録音するとき

5 録音待機状態にする



6 録音したい面をスタートさせる



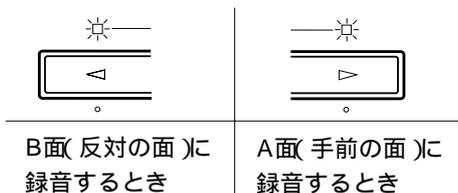
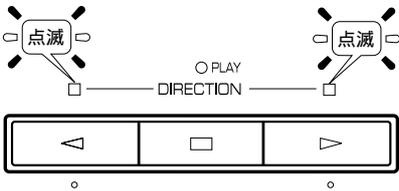
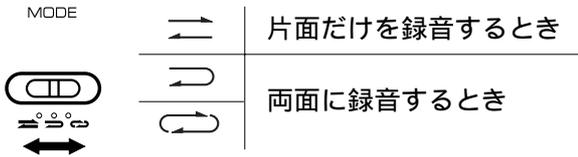
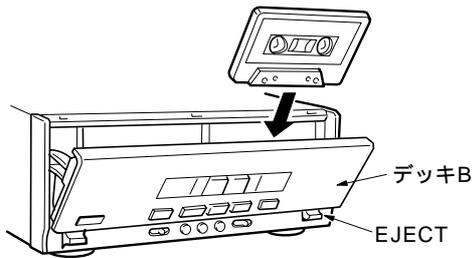
DSS(音場効果)を加えて録音することができます。(DSSについては、36ページ参照)

ラジオ放送を録音するには

お望みのラジオ放送局を受信する

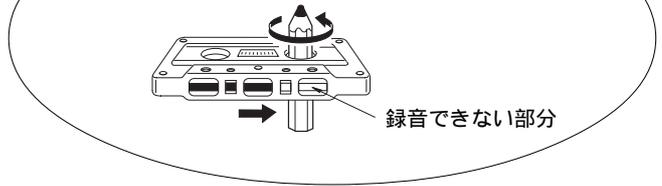


”A6”にFM82.5MHzの放送局が記憶されている場合
詳しくは、34ページをご覧ください。



両面に続けて録音するときは、A面から始めます。
(B面から始めてもA面には切り換わりません。)

テープの始めの録音できない部分は、
あらかじめ巻き取っておいてください。

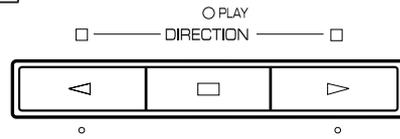


録音を一時的に止めるには

○ REC/PAUSE

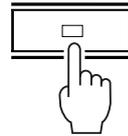
レック ポーズ

REC/PAUSEボタンを押す
(テープが止まり、録音待機状態となります。)



再び録音を始めるときは、表示ランプの点滅している
PLAYボタンを押します。

録音を止めるには



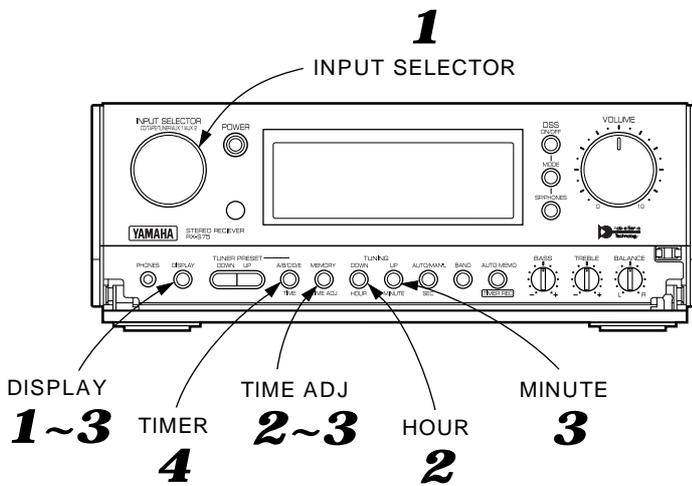
ストップ
STOPボタンを押す

録音されたテープの音を消すには

1. 消したいテープをDECK Bに入れる。
2. インプットをTAPEにする。
3. DECK Bボタンを押す。
4. MODEスイッチをお好みに切り換える。
5. REC/PAUSEボタンを押す。
6. 消したい面のPLAYボタンを押す。

タイマーを使うには

タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。(16ページ)



ディスプレイ —DISPLAYボタンについて—

DISPLAYボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

電源が切れているとき(POWER OFF)

- 時計表示
- インプット設定表示
- ON TIME 設定表示
- OFF TIME 設定表示

電源が入っているとき(POWER ON)

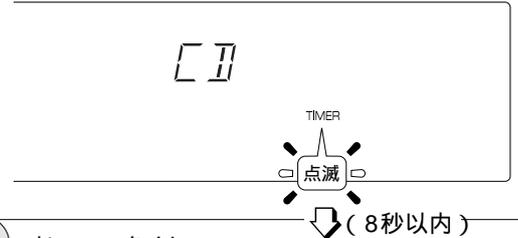
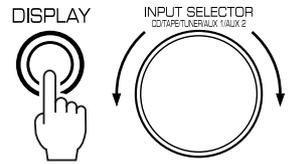
- インプット表示
(現在再生しているソース)
- 時計表示 (約7秒間)
- インプット設定表示
(タイマー動作で再生するソース)
- ON TIME 設定表示
- OFF TIME 設定表示

各設定表示は、約8秒間何も設定しないと自動的に次の表示に移ります。

タイマー再生をするには (例えば)

1 インプット設定表示にして

DISPLAYボタンでインプット設定表示にして、INPUT SELECTORでCDにする



2 オン タイム ON TIME設定表示にして開始時刻を設定する



約1秒間'ON TIME'表示して、開始時刻を表示します。

3 必要に応じて終了時刻を設定する

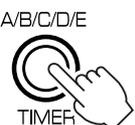


約1秒間'OFF TIME'表示して、終了時刻を表示します。
開始時刻を設定すると終了時刻は1時間後にセットされます。
必要に応じて設定してください。

4 タイマー再生をスタートさせる

タイマー
TIMERボタンを押す

現在時刻を表示します。
(POWER OFF状態になります)



設定した時刻がくるとタイマー再生が動作します。

朝CDを聴いて起きたい場合)

インプットを決める

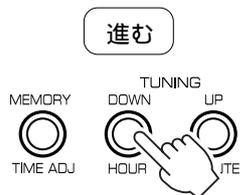
あらかじめCDをディスクトレイに入れる (20ページ)
 TAPEの場合はテープをデッキに入れる (28ページ)
 TUNERの場合は、ラジオ放送局を決める (34ページ)
 音量を調整しておく

TUNERを設定した場合、本体のBAND・A/B/C/
 D/EとPRESETボタンで選局することもできま
 す。

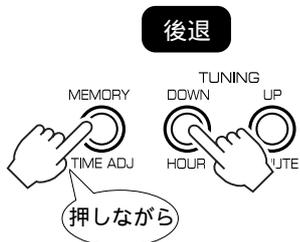
開始時刻または終了時刻の設定のしかた

時の設定

HOURボタンを
 押すと“時”が進
 む。

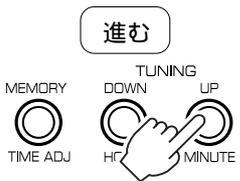


TIME ADJボタン
 とHOURボタンを
 同時押しすると
 “時”が後退する。

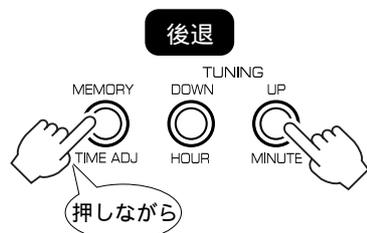


分の設定

MINUTEボタンを
 押すと“分”が進む。



TIMEADJボタン
 とMINUTEボタ
 ンを同時押しす
 ると“分”が後退
 する。



タイマーのON/OFFは、時計表示のときのみでき
 ます。

タイマー時刻を確かめるには

ディスプレイ
 DISPLAYボタンを押して、各設定表示を確認してく
 ださい。

タイマー動作を中止するには

タイマー
 時計表示のときにTIMERボタンを押す
 (TIMER表示は消えます。)

演奏中にタイマーONした場合

タイマー設定内容が優先されますので、設定したイン
 プットに切り換わります。

—— タイマーの記憶について ——

タイマー設定した内容は、電源コードを抜いたり停電し
 ても、約5分間は設定した内容を記憶しています。

注)開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了
 時刻(OFF TIME)は1時間後に変更します。

OFF TIMEを設定し直してください。

注)ON TIMEおよびOFF TIME設定表示中にTIMERボタンを
 押した場合は、POWER OFF状態になりますが、時計表
 示のときは、POWER ON状態を続けることができます。

タイマーを使うには

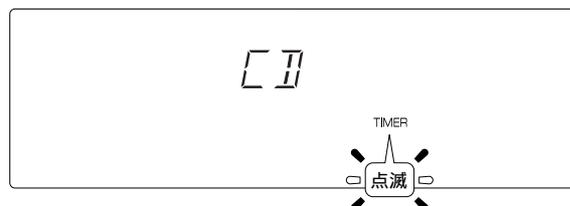
タイマー録音をするには (ラジオ放送を留守録音したい場合)

1 あらかじめ、聴きたい放送局を選び、
デッキBに録音用テープを入れる

46ページの①～④を操作する

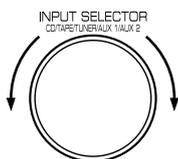
2 インプット設定表示にする

DISPLAY

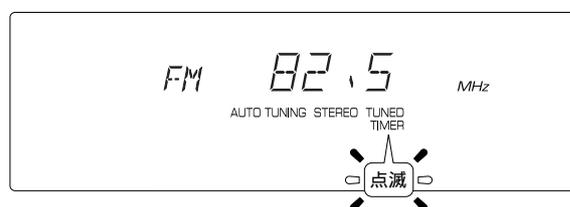


3 チューナー
TUNER を設定する

↓ (8秒以内)



“TUNER”を表示した後、
受信周波数を表示します。



このとき本体のBAND・A/B/C/D/EとPRE-
SETボタンで選局することもできます。
(34ページの③～④の操作)

4 タイマー レック
TIMER REC状態にする

↓ (8秒以内)

タイマー レック
TIMER RECボタンを押す

AUTO MEMO



TIMER REC状態(モード)
を解除する場合は、
TIMER RECボタンを押し
ます。



受信周波数(インプット)と“REC”が交互に表
示します。(約8秒間)

5 開始時刻と終了時刻を設定する

↓ (8秒以内)

48～49ページの②～③を操作する

6 タイマー録音をスタートさせる。

↓ (8秒以内)

タイマー
TIMERボタンを押す

A/B/C/D/E



現在時刻を表示します。
(POWER OFF状態になります)

設定した時刻がくると
タイマー録音が動作します。



タイマーのON/OFFは、時計表示のとき
のみできます。

注) 開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了時刻(OFF TIME)は1時間後に変更します。
OFF TIMEを設定し直してください。

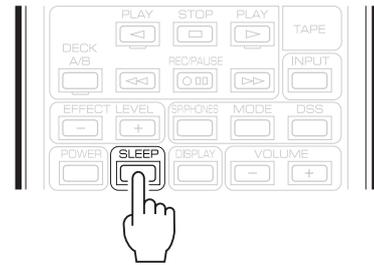
聴きながらおやすみになるには

1 聴きながらおやすみになりたいものを操作する

- テープを聴きながらおやすみ
- ラジオ放送を聴きながらおやすみ
- CDを聴きながらおやすみ

2 スリープ リモコンのSLEEPボタンを押す

スリープ時間は自動的に2時間(2h00m)に設定されます。
(約4秒たつとSLEEPボタンを押す前の表示に戻ります。)



3 スリープ スリープ時間を変えるには

SLEEP表示が点滅している間に、
SLEEPボタンを押す

時間の設定



押すたびに、 2h00m 1h30m 1h00m 0h30m OFF SLEEP と変わります。

本体でスリープを設定するには

1. DISPLAYボタンを押して、時計表示にする。
2. AUTO/MAN'Lボタンを押すと、スリープ設定ができます。



時間がくると電源が切れます。



スリープ動作中に 残りの時間を確かめるには

スリープ
SLEEPボタンを押す

スリープ動作を途中でやめるには

スリープ SLEEPボタンを押して、オフ OFF スリープ SLEEP表示にする

(パワー またはPOWERボタンを
押して電源を切ります)



(48~50ページ参照)

スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー
再生/タイマー録音することができます。

オートパワーオフ機能

インプットがCD・テープのとき、ストップ状態や音の
出していない状態が30分以上続くと、自動的に電源が切
れます。

時刻合わせがされていないと、オートパワーオフ機能が
働かない場合があります。

他の機器を楽しむには

他の機器を本機で聴くには

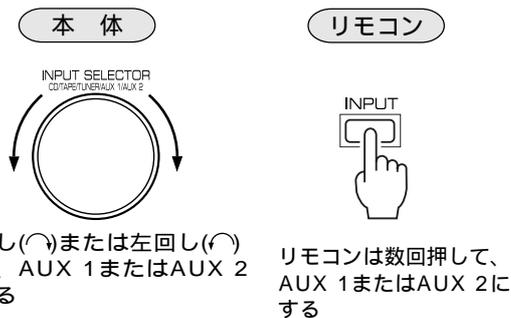
接続のしかたは、8ページをご覧ください。

他の機器の電源スイッチなどを操作する前に、本機の音量を小さくしてください。

1 電源を入れる



2 インプット(AUX1またはAUX2)を選ぶ



3 他の機器の演奏(再生)を始める

他の機器の操作は、その機器の説明書をご覧ください。

他の機器を録音するには

1. 電源を入れる。
2. インプット(AUX1またはAUX2)を選ぶ。
3. デッキBに録音用テープを入れる。
4. ドルビーNR、モード(リバースモード)を選ぶ。
5. DECK A/Bボタンで、DECK Bを選ぶ。
6. REC/PAUSEボタンで、録音待機状態にする。
7. 他の機器の演奏を始める。
8. 録音したい面の PLAYボタンを押す。

録音を一時的に止めるには

REC/PAUSEボタンを押す。

再び録音を始めるときは、DIRECTIONランプの点滅している PLAYボタンを押す。

録音を止めるには

STOPボタンを押す。

CDについて

取り扱いについて

必ず右図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。

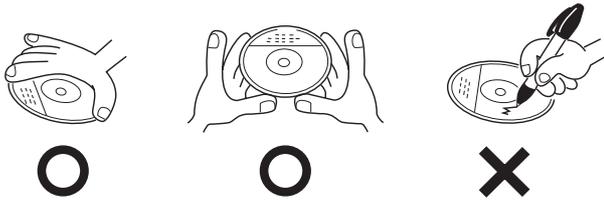


演奏面は、文字のある面と反対の面です。演奏面に触れないでください。

必ず、ディスクの縁を持ってください。

文字のある面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。

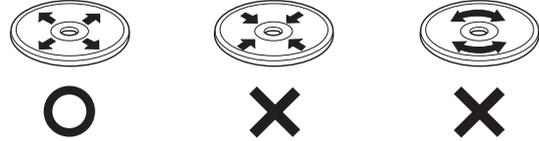
信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふいたりしないでください。



次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨材を含むクリーナー
- レコード用のスプレーやクリーナー
- 静電気防止剤

保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所

——“ つゆつき ”現象について——

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに露(水滴)がつくことがあります。

- ストーブをつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

露がついてしまうと

CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

露を取るには

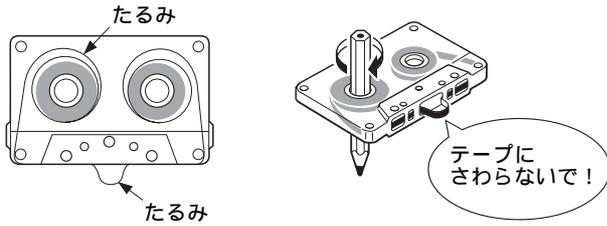
CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

テープについて

取扱いについて

C-120 テープや一部のリール付デザインのテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。

テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。



避けてほしい保管場所

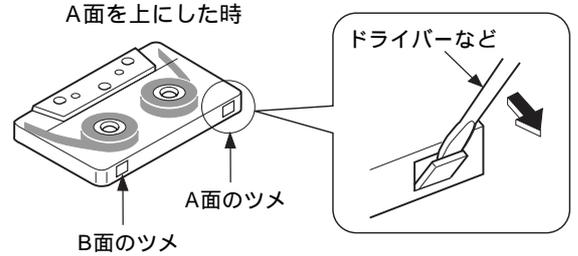
直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)
暖房器具の近く

ほこりや湿気の多い所

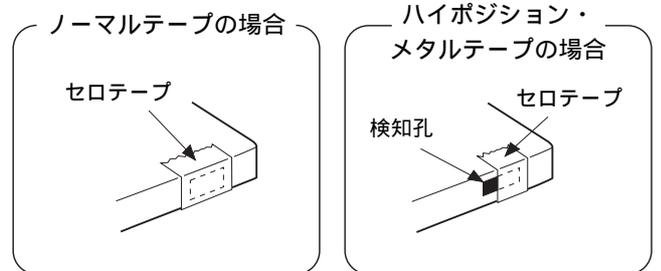
磁気のある所(スピーカーの近くやテレビの上など)

大切な録音を誤って消さないために

テープの消去防止用のツメを折って取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことがあります。



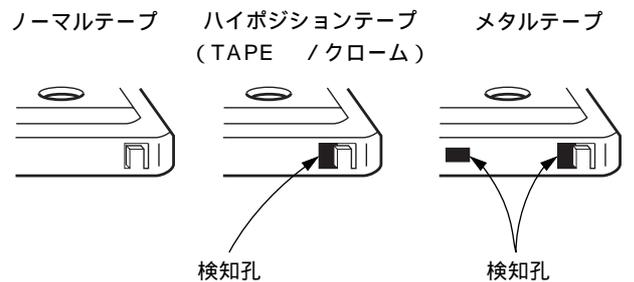
もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメを折った部分を、セロテープなどでふさぎます。



オートテープセレクト機構はテープの検知孔によって判別しますので、ハイポジションテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいでください。

— オートテープセレクト機構について —

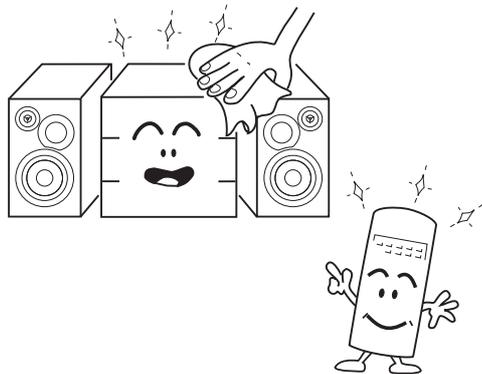
テープの検知孔によって、ノーマルテープ、ハイポジションテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。



お手入れするには

本体 / リモコン

ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントからはずしてください。

ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。また、接点復活剤はご使用にならないでください。



ヘッド

【ヘッド部の清掃】

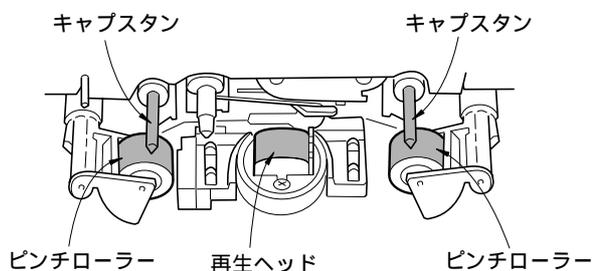
良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用すごとに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

【ヘッド部の消磁】

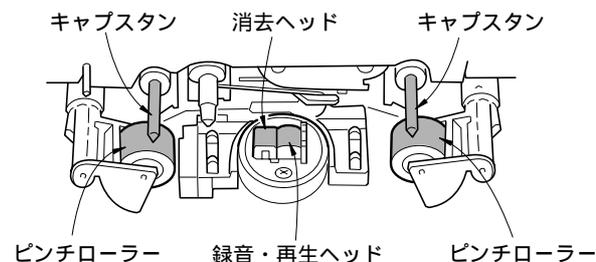
長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。このようなときは、市販の消磁器を使って消磁してください。

油をささないでください。故障の原因になります。

デッキA

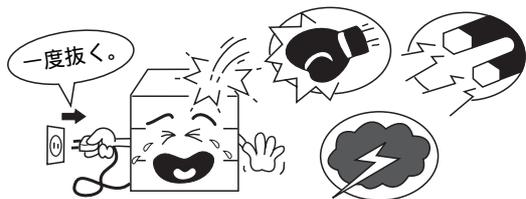


デッキB



故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

こんなとき

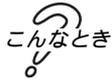
ここをおたしかめください

参照ページ

スピーカーから音が出ない。	ヘッドホンが差し込まれていませんか？ インプットが正しく合っていますか？ スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？	37 — 6
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	スピーカーの左右どちらかの極性、(+, -) が反対になっていませんか？	6
“ブーン”という雑音が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。	—
時計の表示が点滅して動作をしていない。	停電がありませんでしたか？ 時刻を設定し直してください。	16
電源を切っているのに、わけのわからない表示をする。	時刻合わせをしましたか？ 停電がありませんでしたか？	17

CDを聴くとき

CDを入れても総曲数が表示されない。 操作ボタンを押しても動作をしない。また、曲の途中で止まってしまう正しい演奏をしなくなる。 演奏音がとぎれる。	CDの裏表をまちがえていませんか？ ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？ CDに汚れやキズがありませんか？ 規格外のCDを使用していませんか？ 振動の多い不安定な場所に置いていませんか？ つゆがついていませんか？	53 — 53 — 53
"no disc"が表示される。 ディスクトレイが出てきてしまう。	CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆に入れていませんか？	53
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。	—



テープを聴くときまた録音するとき

REC/PAUSEボタンを押しても表示ランプがつかない。	カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか？	54
録音および再生のとき音がとぎれる。または高音が出ない。	テープにシワがあったり、伸びたりしていませんか？ ヘッド部が汚れていませんか？	— 55
録音および再生のとき音のふるえが多い。	テープが伸びていませんか？ キャプスタンやピンチローラーが汚れていませんか？	— 55

ラジオ放送を聴くとき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	アンテナの位置が悪くありませんか？	7
AM放送を聴いているときに、“シー” “ザー”という連続音が入る。	テレビなどからの雑音が入ったり、または、放送局間の干渉音が聴こえることがあります。 テレビを消すか、テレビから離してください。	—

リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	乾電池が消耗していませんか？ 受信部に正しく向けていますか？ 受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ 受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ 乾電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか？	15
------------	---	----

タイマーを使うとき

タイマーがスタートしない。	時刻合わせをしましたか？	16
	TIMER が表示されていますか？	48

本機をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。 または、雑音が録音される。	使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビとこの製品の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。 または、テレビを消してください。	—
他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

参考資料

ドルビーNRについて

カセットテープを再生すると、“サーツ”というテープヒスノイズが聞こえます。耳障りなこのテープヒスノイズを減らすために、本機ではDOLBY NRシステムのBタイプおよびCタイプを採用し、DOLBY NRスイッチを切り換えて使用することができます。

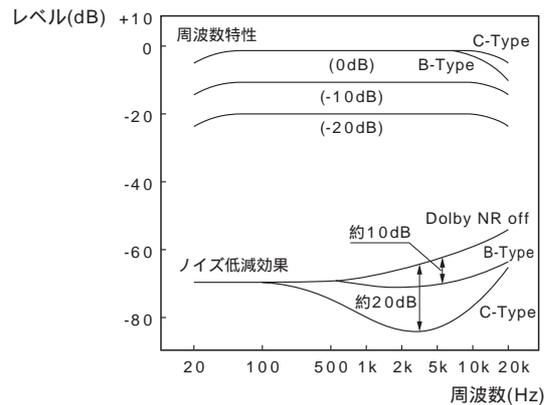
ドルビーB NRでは、高域周波数において約10dBの改善効果が得られます。ドルビーC NRでは、人間の耳が最も敏感な帯域(2kHz～8kHz)において約20dBの改善効果が得られます。

右図は、ドルビーB NRとドルビーC NRで録音・再生したときの周波数特性とノイズ低減効果を表わしたものです。ドルビーC NRの場合、ドルビーB NRに比べノイズはさらに低減され、約20dBの改善効果があることがわかります。

ドルビーNRシステムは、録音・再生を通じてノイズを低減しますので、再生時にはDOLBY NRスイッチは必ず録音時と同じ状態にしてください。

DOLBY B・C NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。



音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

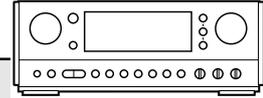
放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

日本著作権協会

本 部	(03)	3502-6551	北 陸 支 部	(0762)	21-3602
北 海 道 支 部	(011)	221-5088	京 都 支 部	(075)	251-0134
盛 岡 支 部	(0196)	52-3201	大 阪 支 部	(06)	244-0351
仙 台 支 部	(022)	264-2266	神 戸 支 部	(078)	322-0561
大 宮 支 部	(048)	643-5461	中 国 支 部	(082)	249-6362
東 京 支 部	(03)	3562-4455	四 国 支 部	(0878)	21-9191
西 東 京 支 部	(03)	3232-8301	九 州 支 部	(092)	441-2285
横 浜 支 部	(045)	662-6551	鹿 児 島 支 部	(0992)	24-6211
静 岡 支 部	(054)	254-2621	那 覇 出 張 所	(098)	863-1228
中 部 支 部	(052)	586-1155			

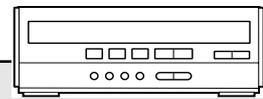
詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの支部へお問い合わせください。

仕様について



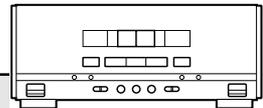
レシーバー部 (RX-S75)

アン プ 部	定格出力	55W + 55W (1kHz, 0.08% THD, 6) 75W + 75W(1kHz, 10% THD, 6)	チ ユ ー ナ ー 部 総 合	FM受信周波数範囲	76.0MHz ~ 90.0MHz
	入力感度 / インピーダンス	390mV / 20k (AUX1,2)		FM実用感度 (MONO)	1.2 μV (75)
	全高調波歪率	0.08% (AUX, 1kHz, 27.5W/6 出力時)		AM受信周波数範囲	531kHz ~ 1611kHz
	SN比	90dB (AUX)		AM実用感度	280 μV/m
	トーンコントロール	BASS 0 ± 10dB (50Hz) TREBLE 0 ± 10dB (20kHz)		電源電圧	AC100V 50/60Hz
	ヘッドホン出力インピーダンス	68		消費電力	132W (システム接続時)
				寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	280 × 107.5 × 345mm
				重量	6.0kg



CDプレーヤー部 (CDC-S75)

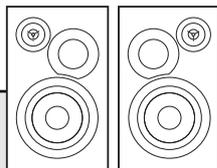
方 式	型式	3CDオートチェンジャー	ワウ・フラッター	測定限界値以下
	読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (3ビーム半導体レーザー使用)	電源	レシーバー部より供給
	D/Aコンバーター	1bit DAC	寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	280 × 107.5 × 323mm
	フィルター	8倍オーバーサンプリング 18bitデジタルフィルター	重量	3.8kg



カセットデッキ部 (KXW-S75)

メ カ 部	型式	オートリバース 4トラック2チャンネル 再生 / 録再ステレオダブル カセットデッキ	オ ー デ イ オ 部 総 合	周波数特性 (-20dB)	ノーマル 30Hz ~ 15,000Hz ± 3dB クローム 30Hz ~ 16,000Hz ± 3dB メタル 30Hz ~ 18,000Hz ± 3dB
	ヘッド	再生 ハードパーマロイ × 1 録再 ハードパーマロイ × 1 消去 ダブルギャップフェライト × 1		SN比 (IHF-A)	NR OFF 58dB DOLBY B NR ON 66dB DOLBY C NR ON 74dB
	モーター	DCサーボモーター × 2		高調波歪率	1.2%以下 (315Hz)
	ワウ・フラッター	± 0.19% (W. PEAK) 0.09% (W. RMS)		チャンネルセパレーション	40dB以上 (1kHz)
	早巻き時間	約120秒 (C-60テープ)		クロストーク	55dB以上 (125Hz)
				電源	レシーバー部より供給
				寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	280 × 117.5 × 326mm
				重量	4.2kg

スピーカー部 (NX-S75)



型式	アクティブサーボプロセッシング方式
スピーカー	14cmウーハー
	5cmツイーター
	1.1cmスーパーツイーター
最大許容入力	75W
インピーダンス	6
再生周波数帯域	40Hz ~ 20,000Hz
音圧レベル	89dB (1m · 1W)
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行)	200 × 330 × 239mm
重量	4.3kg × 2

付属品



リモコン送信機 × 1	スピーカーコード × 2
AM用ループアンテナ × 1	単3乾電池 × 2
FM用アンテナ × 1	

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

本システムは、レシーバー部・CD部・デッキ部の単体では動作しませんので、レシーバー部 + CD部 + デッキ部の組み合わせで修理をご依頼ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修性能部品の最低保有期間

補修性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
お客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500

〒108 東京都港区高輪2 - 17 - 11

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 513 - 5036
- 仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)汗里丘センター内
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
TEL (0878) 22 - 3045
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。